

四百七	奧 主一郎	四百八	秋田 三一
四百九	栗林 徳一	四百十	佐藤助九郎
四百十一	中野 敏雄	四百十二	柴田兵一郎
四百十三	上野喜左衛門	四百十四	渡邊 甚吉
四百十五	岩元 達一		

附記

議席中百六十四號ハ議員死亡ノ結果空席ト爲セリ

○第三節 議員異動

○第一 死亡及弔辭

昭和十八年六月十七日議員從二位位階追陞勳一等佐藤三吉薨去ス依テ同月十九日左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員宮内省御用勲東京帝國大學名譽教授帝國學士院會員正三位勳一等佐藤三吉君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

○第二 資格消滅

勳一等 徳 彦 王

昭和十八年六月七日情願ヲ允サレ龍田ノ家名ヲ賜ヒ華族ニ列セラレ伯爵ヲ授ケラル依テ議員ノ資格消滅セリ

○第三 辭職

昭和十八年四月九日 正二位勳二等 伯爵 松木 宗隆

同年四月三十日 從三位勳一等 平生 夙三郎

○第四 當選

正四位男爵 毛利 元良
從三位男爵 鶴殿 家勝

昭和十八年五月六日男爵議員補闕選舉ニ當選

○第五 勅任

昭和十八年四月三十日勅選 從三位勳二等 湯澤 三千男
正八位 當間 重民

同年五月十一日勅任(同年四月二日沖繩縣多額納稅者議員補闕選舉ニ當選)

○第四節 全院委員長

昭和十八年六月十六日議院法第二十一條第一項ニ依リ全院委員長ノ選舉ヲ行フ議院ハ議員ノ動議ニ依リ貴族院規則第二十一條ノ手續ヲ省略シテ公爵徳川圀順ヲ全院委員長ニ決定セリ

○第五節 國務大臣及政府委員

本會期ニ於ケル國務大臣及政府委員左ノ如シ

○國務大臣

內閣總理大臣兼 陸軍大臣	東條英機
國務大臣	鈴木貞一
厚生大臣	小泉親彦
司法大臣	岩村通世
海軍大臣	嶋田繁太郎
遞信大臣	寺島健
大藏大臣	賀屋興宣

商工大臣	岸信介
鐵道大臣	八田嘉明
內務大臣	安藤紀三郎
大東亞大臣	青木一男
外務大臣	重光葵
農林大臣	山崎達之輔
國務大臣	大麻唯男
文部大臣	子爵岡部長景
國務大臣	後藤文夫

因ニ記ス 國務大臣鈴木貞一ハ兼企畫院總裁タリ

○政府委員

政府委員

內閣書記官長	星野直樹
法制局長官	森山銳一

法制局參事官	佐藤基
同	入江俊郎
同	佐藤達夫
企畫院次長	安倍源基
企畫院部長	梶原茂嘉
同	柏原兵太郎
同	原鼎三
同	龜山孝一
同	渡邊渡
企畫院調查官	平井豐一
情報局總裁	天羽英二
情報局次長	村田五郎
情報局情報官	堀公一
同	橋本政實

外務省所管事務政府委員

內務省所管事務政府委員

同	武藤富男
技術院總裁	子爵 井上匡四郎
技術院次長	和田小六
技術院參技官	岡田重一郎
外務次官	松本俊一
外務省政務局長	上村伸一
外務省調查局長	山田芳太郎
內務次官	唐澤俊樹
內務省地方局長	古井喜實
內務省警保局長	町村金五
內務省管理局長	竹內德治
內務書記官	澤重民

大藏省所管事務政府委員

朝鮮總督府政務總監	田中武雄
朝鮮總督府財務局長	水田直昌
臺灣總督府總務長官	齋藤樹
臺灣總督府財務局長	中嶋一郎
大藏次官	谷口恒二
大藏省總務局長	迫水久常
大藏省主計局長	植木庚子郎
大藏省主稅局長	松隈秀雄
大藏省國民貯蓄局長	氏家武
大藏省資金局長	松田令輔
大藏省理財局長	田中豐
大藏省銀行局長	山際正道
大藏書記官	野田卯一

陸軍省所管事務政府委員

同	河野一之
同	窪谷直光
同	前田克巳
陸軍次官	富永恭次
陸軍中將	吉積正雄
陸軍主計中將	栗橋保正
陸軍少將	佐藤賢了
陸軍大佐	二宮義清
陸軍主計大佐	遠藤武勝
海軍次官	澤本賴雄
海軍中將	岡敬純
海軍主計中將	山本丑之助

司法省所管事務政府委員

海軍少將 保科善四郎
海軍大佐 矢 牧 章
海軍主計大佐 山沖芳市

文部省所管事務政府委員

司法次官 大森洪太
司法省民事局長 齋藤直一
司法省刑事局長 池田 克

農林省所管事務政府委員

文部次官 菊池豐三郎
文部省總務局長 藤 野 惠
農林次官 石 黒 武 重
農林省總務局長 重政誠之
農林省農政局長 石井英之助

商工省所管事務政府委員

農林省水產局長 井出正孝
農林省食品局長 田中啓一
農林書記官 笹山茂太郎
食糧管理局長官 湯河元威
商工次官 椎名悦三郎
商工省總務局長 神 田 暹
商工省企業局長 豊田雅孝
商工省金屬局長 津 田 廣
商工省化學局長 山 本 茂
商工省機械局長 佐藤筌太郎
商工省纖維局長 西 川 浩
商工省交易局長 山 口 喬
商工書記官 赤間文三

遞信省所管事務政府委員

燃料局長官	楠瀬常猪
物價局長官	菱沼勇
金屬回收本部長	難波經一

遞信次官	手島榮
------	-----

(昭和十八年六月十六日被仰付)

遞信省電氣局長	塩原時三郎
---------	-------

海務院長官	松木益吉
-------	------

(昭和十八年六月十六日被仰付)

海務院次長	安田丈助
-------	------

(同)

海務院部長	新谷寅三郎
-------	-------

鐵道省所管事務政府委員

鐵道次官	長崎惣之助
------	-------

鐵道監	平山孝
-----	-----

同	佐藤榮作
---	------

同	堀木鎌三
---	------

厚生省所管事務政府委員

同	三浦義男
---	------

厚生次官	武井群嗣
------	------

厚生省勤勞局長	持永義夫
---------	------

厚生書記官	青柳一郎
-------	------

大東亞省所管事務政府委員

大東亞次官	山本熊一
-------	------

大東亞省總務局長	竹内新平
----------	------

大東亞省滿洲事務局長	今吉敏雄
------------	------

大東亞省支那事務局長	宇佐美珍彦
------------	-------

大東亞省南方事務局長	水野伊太郎
------------	-------

(備考) 政府委員被仰付ノ日附記入ナキモノハ孰モ本期議會召集當日即チ昭和十八年六月十五日被仰付

○第五章 諸表

左ニ議案件數表、議案表、議事日表、委員會表、常任委員會表、請願書一覽表、請願書關係地方別表、請願書紹介議員別表ヲ掲ケテ各其ノ概要ヲ知ルノ便ニ供ス

議案件數表

請願	附錄	貴族議員提出	政府提出		種目	件數	可決
			豫算案(追加案)	法律案(衆議院ヨリ付リ)			
一	委員ノ審査未了ノモノ	動議案	豫算案(追加案)	法律案(衆議院ヨリ付リ)			
		計	計	計			
		一	二	八			
		一	二	八			

議案表

○議案表目次

○法律案

○政府提出案

一道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル法律案	四〇二頁
一昭和十七年法律第二十三號中改正法律案	四〇四
一朝鮮食糧管理特別會計法案	四〇六
一朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金及企業ノ 整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法 律案	四〇八
一臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補給金ノ財源ニ 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案	四一〇
一企業整備資金措置法案	四一二
一昭和十八年法律第九號中改正法律案	四一四
一國民更生金庫法中改正法律案	四一六

○豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

一昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案第一號（内務、大藏、農林、商工、厚生各省所管） 四二八

一昭和十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第一號（内務、大藏、鐵道、各省所管） 四二〇

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號（内務、大藏、農林、商工、鐵道各省所管） 四二二

○動議

一陸海軍ニ對スル感謝決議案 四二四

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル法律案	(本會議) 昭和十八年六月十七日	第一讀會 同日 第二讀會 同日 第三讀會 同日	昭和三十八年六月十七日選定(議長指名) 特別委員 委員長 公府岩倉 具榮 副委員長 伯爵德川 宗敬 子爵立花 種忠 子爵梅園 篤彦 村上 恭一 安井 英二 男爵伊江 朝助 山岡萬之助 松村 義一 板谷 宮吉 磯野 庸幸 大谷 五平	國務大臣 出席 政府委員 出席 (本會議) 昭和十八年六月十七日 內務大臣 安藤紀三郎 政府委員 法制局長 森山 銳一 官 內務次官 唐澤 俊樹 內務省地 方局長 古井 喜實 內務省警 保局長 町村 金五 內務省管 理局長 竹内 徳治
提出 昭和十八年六月十六日 政府提出(院議)	昭和十八年六月十七日 會 議			
議決 昭和十八年六月十七日 可 決				
上奏 昭和十八年六月十七日 裁可ヲ奏請ス				
公布 昭和十八年六月二十二日 法律第九十號				
衆議院往復 昭和十八年六月十六日衆議院 ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府 提出案ヲ送付セラレ 同日十七日本案可決ノ旨ヲ衆議 院ニ通知ス				

第八十二回 諸表(議案表)

四〇二

考	備
	昭和十八年六月十六日本案ヲ配布ス 同日議事日程第二號ヲ以テ第一讀會ヲ十七日ト定メ同日程 ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日十七日特別委員ノ數ヲ十二名トシ議長指名ト爲スコトヲ 議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加 フ

第八十二回 諸表(議案表)

四〇三

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
昭和十七年法律第二十三號中改正法律案	(本會議) 昭和十八年六月十七日 同十八日	第一讀會 第二讀會 第三讀會	昭十八年六月十七日選定(議長指名) 特別委員 公府鷹司 信輔 侯爵黑田 長禮 長委員 伯爵溝口 直亮 子爵大河內輝耕 子爵秋元 春朝 子爵綾小路 護 小林 一三 田中 都吉 白根 竹介 男爵松田 正之 男爵島津 忠彥 男爵明石 元長 有賀 光豐 兒玉 謙次 澁澤 金藏 河西 豐太郎 中島 德太郎 飯塚 知信	昭十八年六月十七日 昭十八年六月十八日 同十八日
昭十八年六月十六日衆議院 政府提出(院ニ)	(委員會) 昭和十八年六月十七日 同十八日	會 議 會 議 會 議	副委員長 男爵島津 忠彥 男爵明石 元長 有賀 光豐 兒玉 謙次 澁澤 金藏 河西 豐太郎 中島 德太郎 飯塚 知信	昭十八年六月三十日 法律第九十七號
昭十八年六月十八日 裁可ヲ奏請ス			昭十八年六月十八日衆議院 ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府 提出案ヲ送付セラル 同十八日本案可決ノ旨ヲ衆議 院ニ通知ス	

第八十二回 議案(議案表)

四〇四

備	考
昭十八年六月十六日本案ヲ配付ス 同日議事日程第二號ヲ以テ第一讀會ヲ十七日ト定メ同日程 ヲ配付シ官報ニ報告ス 同十七日特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲スコトヲ 議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同十八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加 フ	中野 敏雄 同十八日連繫事件 トシテ昭和十八年 法律第九號中改正 法律案ヲ本案ト同 一ノ特別委員ニ付 託ス
大藏書記 官 野田 卯一 同 河野 一之 海軍次官 澤本 賴雄 海軍中將 岡 敬純 海軍主計 山本 丑之助 中將 山本 丑之助 海軍主計 山沖 芳市 大佐	

第八十二回 議案(議案表)

四〇五

案律法出提府政

議案題目	朝鮮食糧管理特別會計法案
提出	昭和十八年六月十六日 政府提出(衆議院)
決議	昭和十八年六月十八日 可決
奏上	昭和十八年六月十八日 裁可ヲ奏請ス
公布	昭和十八年六月二十二日 法律第九十一號
衆議院復往	昭和十八年六月十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス
會議	昭和十八年六月十八日 第一讀會 第二讀會 第三讀會
委員	昭選定(議長指名) 特別委員 長 伯爵兒玉 秀雄 侯爵池田 宣政 公爵一條 實孝 子爵八條 隆正 子爵西尾 忠方 子爵裏松 友光 下條 康磨 大野綠 一郎 內田 重成 田口 弼一 男爵三須 精一 男爵稻田 昌植 男爵坊城 俊賢 赤池 濃 結城 安次
出席	昭選定(本會議) 昭和十八年六月十八日 政府委員 內閣總理 東條 英機 大藏大臣 賀屋 興宣 內務大臣 安藤紀三郎 農林大臣 山崎達之輔 政府委員 內務次官 唐澤 俊樹 內務省管 竹內 徳治 理局長 田中 武雄 朝鮮總督 田中 武雄 監 田中 武雄 朝鮮總督 田中 武雄 府財務局長 水田 直昌 長 谷口 恒二 大藏次官 谷口 恒二 大藏省總 追水 久常 務局長 植木庚子郎 大藏省主 田中 豐 計局長 田中 豐 大藏省理 田中 豐 大藏書記 野田 卯一 官 野田 卯一

第八十二回 諸表(議案表)

四〇六

備	昭和十八年六月十七日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲六月十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程第三號ヲ以テ第一讀會ヲ十八日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同十八日特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續第二、第三讀會ヲ加フ
考	米原 章三 山上 岩二 柴田兵一郎 連繫事件トシテ本案外二件ヲ同一ノ特別委員ニ付託ス
	同 河野 一之 農林次官 石黒 武重

第八十二回 諸表(議案表)

四〇七

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ補助金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案	(本會議) 昭和十八年六月十八日	第一讀會 同日 第二讀會 同日 第三讀會 同日	昭和十八年六月十八日 連繫事件トシテ朝鮮食糧管理特別會計法案ト同一ノ特別委員ニ付託ス	昭和十八年六月十八日 (本會議) 國務大臣 政府委員 出席 唐澤 俊樹 竹内 徳治 田中 武雄 水田 直昌 谷口 恒二 追水 久常 植木 庚子郎 田中 豊 野田 卯一 河野 一之
政府提出(院ニ)	昭和十八年六月十八日	會 議		
可 決				
裁可ヲ奏請ス				
昭和十八年六月十八日				
法律第九十三號				
昭和十八年六月二十二日				
復往院議來				

第八十二回 議案(議案表)

四〇八

備 考

昭和十八年六月十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ参考ノ爲六月十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程第三號ヲ以テ第一讀會ヲ十八日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ

第八十二回 議案(議案表)

四〇九

案律法出提府政

議案題目	會	委員	出席
企業整備資金措置法案 昭和十八年六月十六日 政府提出(院二)	(本會議) 昭和十八年六月十八日 第一讀會 同日 第二讀會 同日 第三讀會 (委員會) 昭和十八年六月十八日 會 議	昭和十八年六月十八日選定(議長指名) 特別委員 公爵桂 廣太郎 侯爵細川 護立 侯爵中山 輔親 伯爵山本 清 子爵會我 祐邦 子爵大河内正敏 子爵織田 信恒 子爵大岡 忠綱 子爵阪谷 希一 三井清一郎 川村 竹治 伍堂 卓雄 柴田善三郎 左近司政三 男爵久保田敬一 男爵東郷 安	(本會議) 昭和十八年六月十八日 內閣總理大臣兼陸軍大臣 東條 英機 厚生大臣 小泉 親彦 司法大臣 岩村 通世 海軍大臣 嶋田繁太郎 逓信大臣 寺島 健 大藏大臣 賀屋 興宣 商工大臣 岸 信介 鐵道大臣 八田 嘉明 內務大臣 安藤紀三郎 農林大臣 山崎達之輔 政府委員 法制局長 森山 銳一 法制局參事官 佐藤 基 企畫院次長 安倍 源基 企畫院部長 原 鼎三
上奏 昭和十八年六月十八日 裁可ヲ奏請ス			
公布 昭和十八年六月二十六日 法律第九十五號			
議院往復 昭和十八年六月十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同日十八日日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第八十二回 諸表(議案表)

四二二

考 備

昭和十八年六月十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲六月十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程第三號ヲ以テ第一讀會ヲ十八日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日十八日特別委員ノ數ヲ二十七名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續第二第三讀會ヲ加フ	男爵飯田精太郎 吉野 信次 男爵肝付 兼英 男爵益田 太郎 坂野鉄次郎 竹内 可吉 瀧 正雄 竹下 豊次 瀧川 儀作 岩田 宙造 秋田 三一 連繫事件トシテ本案外一件ヲ同一ノ特別委員ニ付託ス	企畫院調査官 平井 豊一 內務次官 唐澤 俊樹 大藏次官 谷口 恒二 大藏省總務局長 迫水 久常 大藏省主計局長 植木庚子郎 大藏省理財局長 田中 豊 大藏書記官 野田 卯一 同 河野 一之 農林次官 石黒 武重 商工省企業局長 豊田 雅孝 商工書記官 赤間 文三 金屬回收本部長 難波 經一 厚生次官 武井 群嗣
---	--	---

第八十二回 諸表(議案表)

四一三

豫 算 案

議案題目	昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號) 内務、大藏、農林、商工、厚生各省所管
會議	(本會議) 昭和十八年六月十八日 會議 豫算委員會開會ノ日時ハ常任委員會表中ニ掲載セルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下之ニ同シ
委員	豫算委員ノ氏名ハ常任委員會表中ニ掲載セルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下之ニ同シ
出席	<p>(本會議)</p> <p>昭和十八年六月十八日</p> <p>内閣總理 東條 英機 大臣 小泉 親彦 厚生大臣 賀屋 興宣 大藏大臣 岸 信介 商工大臣 安藤紀三郎 内務大臣 山崎達之輔 農林大臣 政府委員</p> <p>政府委員</p> <p>企畫院次 安倍 源基 企畫院部 原 鼎三 企畫院調 平井 豊一 内務次官 唐澤 俊樹 内務省管 竹内 徳治 理局長 田中 武雄 朝鮮總督 田中 武雄 監政務總 田中 武雄 朝鮮總督 田中 武雄 府財務局 水田 直昌</p>
提出	昭和十八年六月十六日 政府提出
決議	昭和十八年六月十八日 可決
上奏	昭和十八年六月十八日 裁可ヲ奏請ス
公布	昭和十八年六月二十二日 公布
衆議院復往	昭和十八年六月十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セララル 同十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス

第八十二回 諸表(議案表)

四一八

考 備

考	昭和十八年六月十七日本案ヲ配付ス(原案ハ参考ノ爲六月十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同十八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ會議ヲ加フ
備	<p>臺灣總督 齋藤 樹 府總務長 中嶋 一郎 臺灣總督 府財務局 谷口 恒二 長 大藏次官 迫水 久常 大藏省總 務局長 植木庚子郎 大藏省主 計局長 田中 豊 大藏省理 財局長 野田 卯一 大藏書記 田中 卯一 同 農林次官 河野 一之 農林省企 業局長 石黒 武重 商工省企 業局長 豊田 雅孝 商工書記 赤間 文三 金庫回收 官 難波 經一 本部長 武井 群嗣 厚生次官</p>

第八十二回 諸表(議案表)

四一九

豫 算 案

議案題目	會 議	委 員	出席
昭和十八年度各特別會計 歳入歳出豫算追加案（特 第一號） 内務、大藏、鐵道各省所管	（本會議） 昭和十八年 六月十八日 會 議		（本會議） 昭和十八年六月十八日 國務大臣 出席 政府委員
提出 昭和十八年六月十六日 政府提出			政府委員 内務次官 唐澤 俊樹 内務省管 理局長 竹内 徳治 朝鮮總督 府政務總 監 田中 武雄
決議 昭和十八年六月十八日 可 決			朝鮮總督 府財務局 長 水田 直昌
上奏 昭和十八年六月十八日 裁可ヲ奏請ス			臺灣總督 府總務長 官 齋藤 樹
公布 昭和十八年六月二十二日 公 布			臺灣總督 府財務局 長 中嶋 一郎
衆議院議院 復往院議院 昭和十八年六月十七日衆議院 ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府 提出案ヲ送付セラレ 同十八日本案可決ノ旨ヲ衆議 院ニ通知ス			大藏次官 谷口 恒二

第八十二回 諸表（議案表）

四二〇

備 考

昭和十八年六月十七日本案ヲ配付ス（原案ハ參考ノ爲六月 十六日豫メ之ヲ配付セリ） 同十八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ會議ヲ加フ	大藏省總 務局長 追水 久常 大藏省主 計局長 植木庚子郎 大藏省理 財局長 田中 豊 大藏書記 官 野田 卯一 同 河野 一之
--	--

第八十二回 諸表（議案表）

四二一

豫 算 案

議案題目	會 議	委 員	出席
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號) 内務、大藏、農林、商工、鐵道各省所管	(本會議) 昭和十八年六月十八日 會 議		昭和三十八年六月十八日 (本會議) 國務大臣 出席 政府委員 出席
提出 昭和十八年六月十六日 政府提出			昭和三十八年六月十八日 政府委員 農林大臣 山崎達之輔 内務大臣 安藤紀三郎 鐵道大臣 八田 嘉明 商工大臣 岸 信介 大藏大臣 賀屋 興宣 内閣總理 東條 英機
決議 昭和十八年六月十八日 可 決			企畫院次 安倍 源基 企畫院部 原 鼎三 企畫院調 平井 豊一 查官 唐澤 俊樹 内務次官 竹内 徳治 内務省管 理局長 田中 武雄 朝鮮總督 府政務總 監 田中 武雄 朝鮮總督 府財務局 長 水田 直昌
上奏 昭和十八年六月十八日 裁可ヲ奏請ス			
公布 昭和十八年六月二十二日 公 布			
衆議院議案 復往院議衆			

第八十二回 諸表(議案表)

四二二

考 備

昭和十八年六月十七日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲六月十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同十八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ會議ヲ加フ	臺灣總督 齋藤 樹 府總務長 中嶋 一郎 府財務局 長 谷口 恒二 大藏次官 追水 久常 大藏省總 務局長 植木庚子郎 大藏省主 計局長 田中 豊 大藏省理 財局長 野田 卯一 大藏書記 官 河野 一之 同 業局長 豐田 雅孝 商工省企 業局長 赤間 文三 商工書記 官 難波 經一 金屬回收 本部長
--	---

第八十二回 諸表(議案表)

四二三

議 動

議案題目	陸海軍ニ對スル感謝決議案
會 議	(本會議) 昭和十八年六月十六日 會議
委 員	國務大臣 出 席 政府委員 (本會議) 昭和十八年六月十六日 陸軍大臣 東條 英機 海軍大臣 嶋田繁太郎 政府委員 陸軍次官 富永 恭次 陸軍主計 栗橋 保正 中將 佐藤 賢了 陸軍少將 澤本 賴雄 海軍次官 岡 敬純 海軍中將 山本丑之助 海軍主計 矢牧 章 中將 海軍大佐 山沖 芳市 海軍主計 大佐
提 出	昭和十八年六月十六日 發議者 公爵島津 忠重 外七名 贊成者 公爵山縣 有道 外四十二名
決 議	昭和十八年六月十六日 可 決
備 考	昭和十八年六月十六日本案ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ會議ヲ加フ 同日議場ニ於テ東條陸軍大臣、嶋田海軍大臣ハ各、謝辭ヲ述ヘタリ 同日決議文ヲ陸軍大臣、海軍大臣ニ送致ス 因ニ記ス。本院決議ニ對シ防衛總司令官、東部軍司令官、中部軍司令官、西部軍司令官、北部軍司令官、朝鮮軍司令官、臺灣軍司令官、關東軍司令官、支那派遣軍總司令官、香港占領地總督、南方方面陸軍最高指揮官、北方方面陸軍最高指揮官、聯合艦隊司令長官、支那方面艦隊司令長官ヨリ孰モ謝電ヲ受領ス

議 事 日 表

月 日	昭和十八年六月十五日(火曜日)
件 名	一前會ノ部屬及部長理事ノ繼續並前會後就職セル議員ノ部屬決定 一開院式
議 事 日 程	第一 一勅語奉答書案ノ議決 一假議長ノ選舉ハ本會期中之ヲ議長指名ト爲ス件ノ議決 一全院委員長ノ選舉(成規ノ手續ヲ省略シ前會ト同一ノ議員ヲ推薦ス) 一常任委員ノ選舉(成規ノ手續ヲ省略シ前會ト同一ノ委員ヲ推薦ス) 一國務大臣東條英機施政ノ方針演說 一國務大臣東條英機戰況ニ關スル報告 一國務大臣嶋田繁太郎戰況ニ關スル報告 一陸海軍ニ對スル感謝決議案(公爵島津忠重外七名發議)會議(可決) 一本會期中議案配付後ニ於ケル定規ノ日數ヲ經スシテ議事ヲ開クコトヲ得ル件ノ議決 一本會期中會議時間ニ於テ委員會開會ノ要求アリタル場合議長之方許否ヲ決シ得ル
議 事 件 數	第一
時 間	午前九時四十分 午前九時五十分 午後二時三十分 午後三時五十分 一時五十二分三十五
出 席 席 數	三〇〇 一三
出 席 席 數	九八 九九八

六月十七日 (木曜日)		件ノ議決 一 常任委員辭任ノ許可 一 道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル法律案第一讀會 一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 一 右案特別委員ノ數ヲ十二名トシ議長指名ト爲ス件及本會期中議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ハ特別ナル場合ヲ除キ之ヲ議長指名ト爲ス件ノ議決 一 昭和十七年法律第二十三號中改正法律案第一讀會 一 右案特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一 勅語奉答書捧呈ノ報告及勅語ノ報告 一 道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一 同第二讀會 一 同第三讀會(可決)	第二	八午前 十時四分 午後三時十三分	五時九分 三二六 九六三 五三
六月十八日 (金曜日)		一 朝鮮食糧管理特別會計法案第一讀會 朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案第一讀會 臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メ補給金ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案第一讀會 一 右各案特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一 企業整備資金措置法案第一讀會 一 右案特別委員ノ數ヲ二十七名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一 昭和十八年法律第九號中改正法律案第一讀會 一 國民更生金庫法中改正法律案第一讀會 一 昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)會議(委員長報告) 昭和十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)會議(委員長報告) 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)會議(委員長報告)(以上可決) 一 昭和十七年法律第二十三號中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 昭和十八年法律第九號中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一 同第二讀會 一 同第三讀會(以上可決) 一 朝鮮食糧管理特別會計法案第一讀會ノ續(委員長報告) 朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メ補給金ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一 同第二讀會	同 同 同	二五 午前 十時四分 午後七時四十七分	九時四十三分 三三三 八九四 六〇

六月十七日 (木曜日)		件ノ議決 一 常任委員辭任ノ許可 一 道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル法律案第一讀會 一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 一 右案特別委員ノ數ヲ十二名トシ議長指名ト爲ス件及本會期中議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ハ特別ナル場合ヲ除キ之ヲ議長指名ト爲ス件ノ議決 一 昭和十七年法律第二十三號中改正法律案第一讀會 一 右案特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一 勅語奉答書捧呈ノ報告及勅語ノ報告 一 道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一 同第二讀會 一 同第三讀會(可決)	第二	八午前 十時四分 午後三時十三分	五時九分 三二六 九六三 五三
六月十八日 (金曜日)		一 朝鮮食糧管理特別會計法案第一讀會 朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案第一讀會 臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メ補給金ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案第一讀會 一 右各案特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一 企業整備資金措置法案第一讀會 一 右案特別委員ノ數ヲ二十七名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一 昭和十八年法律第九號中改正法律案第一讀會 一 國民更生金庫法中改正法律案第一讀會 一 昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)會議(委員長報告) 昭和十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)會議(委員長報告) 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)會議(委員長報告)(以上可決) 一 昭和十七年法律第二十三號中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 昭和十八年法律第九號中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一 同第二讀會 一 同第三讀會(以上可決) 一 朝鮮食糧管理特別會計法案第一讀會ノ續(委員長報告) 朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メ補給金ノ財源ニ充ツル爲メ公債發行ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一 同第二讀會	同 同 同	二五 午前 十時四分 午後七時四十七分	九時四十三分 三三三 八九四 六〇

計	三日	備考	六月十九日 (土曜日)		
			一閉院式	議事	
		一本表件名欄ニハ議事日程及特別ノ事項ヲ記載ス 一本表ハ議事日程及特別ノ議決ニ係ル事件ヲ各一件トシテ記載ス 一本表ノ時數ハ開議ヨリ散會ニ至ル迄ノ延長時間ヲ示シタルモノトス、即チ報告、會議及休憩等ニ要シタル時間ノ總和ナリ 一議院成立ノ日、其ノ時數及其ノ出席、闕席各議員數ハ總計ニ算入セス 一閉院式ノ日ハ日數ニ算入セス 一議長副議長ハ出席議員數ニ算入セス	一 同第三讀會(以上可決) 一 弔辭ヲ贈ル件ノ議決 一 企業整備資金措置法案第一讀會ノ續(委員長報告)、國民更生金庫法中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一 同第二讀會 一 同第三讀會(以上可決)	四二	十六時四十分九五四二八三二八二

委員會表

名	稱	委員數	選舉ノ種類	會度	議數	了審 件查結	了審 件查未
資格審査委員會		九	議院ノ議決				
豫算委員會		六三	同		二	三	
懲罰委員會		九	同				
請願委員會		四五	同				一
決算委員會		四五	同				
道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル法律案特別委員會		一二	議長指名		一	一	
道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル法律案							
昭和十七年法律第二十三號中改正法律案特別委員會		一九	議長指名		二	二	
昭和十七年法律第二十三號中改正法律案							
昭和十八年法律第九號中改正法律案							

連繫事件トシテ昭和十七年法律第二十三號中改正法律案特別委員會ニ付託セラル

朝鮮食糧管理特別會計法案特別委員會	一九	議長指名	一	三	
朝鮮食糧管理特別會計法案					
朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メノ補助金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲メノ債發行ニ關スル法律案		連繫事件トシテ朝鮮食糧管理特別會計法案特別委員ニ付託セラル			
臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲メノ補助金ノ財源ニ充ツル爲メノ債發行ニ關スル法律案	同				
企業整備資金措置法案特別委員會	二七	議長指名	一	二	
企業整備資金措置法案					
國民更生金庫法中改正法律案					
計	五種				
特別委員會	四種	連繫事件トシテ企業整備資金措置法案特別委員ニ付託セラル	七	二	一

常任委員會表

一 特別委員會ニ關スル記事ハ議案表ニ掲載セルヲ以テ之ヲ省略ス
 一 氏名ノ冒頭ニ長ト記セルハ委員長、副ト記セルハ副委員長、△印ハ辭任、×印ハ補闕ヲ示ス
 一 氏名ノ下ニ數字ヲ記セルハ其ノ選出ノ部ヲ示ス

第一 資格審査委員會

委員	公爵島津忠承(九)	子爵青木信光(五)	男爵安保清種(四)
委員	子爵谷儀一(三)	犬塚勝太郎(七)	小原直(二)
委員	塚本清治(八)	松本丞治(一)	村瀬直養(六)

備考
 一 昭和十八年六月十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス
 一 委員長及副委員長ノ互選ヲ爲スニ至ラスシテ議會閉會トナレリ

第二 豫算委員會

委員	長伯爵林博太郎(三)	副男爵矢吹省三(九)	公爵島津忠重(五)
委員	公爵一條實孝(三)	公爵徳川家正(二)	侯爵中御門經恭(八)
委員	侯爵細川護立(八)	侯爵井上三郎(六)	侯爵中山輔親(七)
委員	侯爵久我通顯(六)	伯爵二荒芳徳(六)	伯爵堀田正恒(二)

委		員	
關屋貞三郎(七)	子爵野村益三(七)	子爵大河内正敏(三)	
子爵加藤泰通(五)	子爵大河内輝耕(二)	×子爵伊藤二郎丸(六)	
子爵河瀬眞(六)	△子爵岡部長景(六)	子爵松平忠壽(八)	
子爵大島陸太郎(三)	子爵裏松友光(二)	子爵舟橋清賢(六)	
水野鍊太郎(五)	有吉忠一(二)	河井彌八(九)	
男爵岩倉道俱(二)	吉田茂(五)	三井清一郎(四)	
内田重成(三)	山川端夫(四)	男爵中川良長(七)	
伍堂卓雄(六)	田邊治通(一)	男爵前田勇(三)	
田口弼一(三)	河田烈(一)	横山助成(九)	
男爵柴山昌生(四)	男爵松平外與麿(八)	男爵山川建(五)	
男爵渡邊修二(八)	男爵中御門經民(八)	男爵古市六三(五)	
三浦新七(一)	黒田英雄(五)	富田健治(八)	
田所美治(七)	有賀光豊(四)	西野元(四)	
次田大三郎(四)	丸山鶴吉(九)	太田耕造(一)	
野村徳七(一)	三橋四郎次(一)	光永星郎(四)	
山隈康(七)	吉村友之進(九)	田部長右衛門(七)	
伊藤傳七(九)	二瓶泰次郎(一)	諸橋久太郎(九)	
上野喜左衛門(二)			

會		議	
回數	年月日	開會	休憩
第一回	昭和十八年六月十七日	午前九時五十六分	
第二回	同月十八日	午前九時三十五分 午後一時三十一分	午前十二時五十四分 午後三時四分

考 備

一 昭和十八年六月十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス

一 同日子爵岡部長景委員ヲ辭任ス

一 同日十七日伯爵林博太郎委員長ニ、男爵矢吹省三副委員長ニ當選ス

一 同日分科ヲ設ケス分科審査ヲ省略スルノ決議ヲ爲ス

一 同日第六部ニ於テ補選選舉ヲ行ヒ子爵伊東二郎丸委員ニ當選ス

一 同日日本委員會ニ於テ衆議院ヨリ送付アリタル昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、昭和十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)ヲ受領ス

一 同日質疑通告者ノ抽籤ヲ爲ス

一 同月十八日本委員會ニ於テ昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、昭和十八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)ハ總テ衆議院議決案ノ通可決スベキモノナリト議決シ直ニ其ノ旨委員長ヨリ議長ニ報告ス

第三 懲罰委員會

委員	備考
侯爵西郷從德(三)	一昭和十八年六月十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス 一委員長及副委員長ノ互選ヲ爲スニ至ラスシテ議會閉會トナレリ
子爵清岡長言(五)	
岡喜七郎(四)	
伯爵樺山愛輔(九)	
小山松吉(六)	
山岡萬之助(七)	
男爵大井成元(八)	
中川健藏(一)	
赤池濃(二)	

第四 請願委員會

委員	備考
長子爵高橋是賢(二)	一昭和十八年六月十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス 一委員長及副委員長ノ互選ヲ爲スニ至ラスシテ議會閉會トナレリ
公爵岩倉具榮(五)	
侯爵黒田長禮(二)	
子爵立花種忠(五)	
子爵柳澤光治(一)	
子爵水野勝邦(四)	
村上恭一(一)	
安井英二(四)	
男爵北島貴孝(五)	
男爵奥田剛郎(三)	
男爵益田太郎(八)	
副男爵久保田敬一(九)	
侯爵東郷彪(三)	
伯爵山本清(六)	
子爵松平乘統(六)	
子爵土岐章(九)	
田中館愛橘(一)	
河原田稼吉(七)	
柴田善三郎(六)	
大橋八郎(三)	
男爵關義壽(一)	
男爵水谷川忠磨(六)	
公爵山縣有道(五)	
侯爵嵯峨實勝(九)	
伯爵後藤一藏(一)	
子爵波多野二郎(五)	
子爵三島通陽(三)	
光行次郎(七)	
大野綠一郎(三)	
白根竹介(七)	
男爵本多政樹(八)	
男爵坊城俊賢(四)	
竹内可吉(二)	

委員	備考
安宅彌吉(八)	一昭和十八年六月十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス 一同月十七日子爵高橋是賢委員長ニ、男爵久保田敬一副委員長ニ當選ス 一本委員會ハ會議ヲ開クニ至ラスシテ議會閉會トナレリ
中島德太郎(七)	
永瀬寅吉(九)	
佐藤助九郎(八)	
奥村嘉藏(二)	
出光佐三(九)	
岩田三史(七)	
中野敏雄(六)	
佐々木嘉太郎(四)	
松岡潤吉(二)	
渡邊覺造(四)	
柴田兵一郎(八)	

第五 決算委員會

委員	備考	
公爵鷹司信輔(三)	一昭和十八年六月十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス 一同月十七日子爵高橋是賢委員長ニ、男爵久保田敬一副委員長ニ當選ス 一本委員會ハ會議ヲ開クニ至ラスシテ議會閉會トナレリ	
侯爵池田宣政(七)		
伯爵柳澤保承(四)		
子爵富小路隆直(六)		
子爵京極高修(四)		
松井茂(八)		
出淵勝次(五)		
下條康磨(五)		
男爵周布兼道(七)		
公爵桂廣太郎(一)		
侯爵小村捷治(二)		
子爵今城定政(一)		
子爵北小路三郎(五)		
子爵松平親義(七)		
小野塚喜平次(五)		
木村尙達(四)		
男爵向山均(六)		
長世吉(二)		
侯爵大隈信常(五)		
伯爵橋本實斐(九)		
子爵保科正昭(一)		
子爵大岡忠綱(七)		
子爵仙石久英(六)		
×平塚廣義(八)		
松村眞一郎(七)		
小林一三(八)		
黑崎定三(三)		

考	備	員	委
			男爵近藤 滋 彌(二)
			男爵北大路 信明(二)
			澤田 牛 麿(三)
			小坂 梅 吉(三)
			水野 甚次郎(九)
			飯塚 知 信(八)
			秋田 三 一(一)
			男爵三須 精 一(二)
			男爵西 西 乙(四)
			竹下 豐 次(八)
			松本 勝太郎(六)
			中山 太 一(九)
			佐々木 長治(一)
			男爵深尾 隆太郎(三)
			男爵島津 忠 彦(六)
			△唐澤 俊 樹(八)
			田中 穂 積(九)
			片倉 兼太郎(四)
			奥 主 一 郎(九)

一昭和十八年六月十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス
 一同日唐澤俊樹委員ヲ辭任ス
 一同月十七日第八部ニ於テ補關選舉ヲ行ヒ平塚廣義委員ニ當選ス
 一委員長及副委員長ノ互選ヲ爲スニ至ラスシテ議會閉會トナレリ

請願書一覽表

關官 係名	大藏省	請願 件名	請願書 號數	請願 人數	委員會ノ經過 未了 查不採擇 採擇	本會議ノ經過 可決 否決 未決
		航空戰力増強ニ關スル件	一	一	一	
	計					
	合計		一	一	一	

請願書關係地方別表

合 計	東 京	關 係 地 方 名 件 數	請 願 人 數	委 員 會 ノ 經 過		本 會 議 ノ 經 過	
				未 審 查 不 採 擇	採 擇	可 決 否 決	未 了
一	一			一			

請願書紹介議員別表

議員種別	議員數	紹 介 件 數		請 願 人 數	
		件 數	總數ニ對スル割合	人 數	總數ニ對スル割合
皇 族 議 員	一六				
公 侯 爵 議 員	五五	一	一・〇〇	一	一・〇〇
伯 子 男 爵 議 員	一五〇				
勅 選 議 員	一二五				
帝 國 學 士 院 會 員 議 員	四				
多 額 納 稅 者 議 員	六六				
計	四一八	一	一・〇〇	一	一・〇〇

備 考 議員數ハ皇族 公侯爵議員ニ付テハ會期中最多ノ時ノ員數ニ依リ又互選及勅任ノ議員ニ付テハ其ノ定數ニ依ル

第八十三回帝國議會貴族院事務局報告

第八十三回 帝國議會 貴族院事務局報告

目次

第一章 召集及成立	四四一
第二章 開會及閉會	四四二
第一節 開會	四四二
第二節 閉會	四四六
第三章 儀禮	四四八
第一節 慶賀	四四八
第二節 祝電	四四八
第四章 議員、全院委員長、國務大臣及政府委員	四四九
第一節 議員議席	四四九
第二節 議員異動	四六四
第一 死亡及弔辭	四六四
第二 辭職	四六五

第三	當選	四六五
第四	就職	四六五
第五	勅任	四六六
第三節	全院委員長	四六六
第四節	國務大臣及政府委員	四六六
第五章	諸表	四七六
一	議案件數表	四七七
一	議案表	四七九
一	質問表	五一九
一	議事日表	五二〇
一	自第一回議會開會日時議案件數及議事件數比較表	五二五
一	至第八十三回議會	五三四
一	委員會表	五三七
一	常任委員會表	五三七
一	自第一回議會請願書受領件數比較表	五四三
一	至第八十三回議會	

一	自第一回議會議員出席比例一覽表	五五〇
一	至第八十三回議會	
一	自第一回議會傍聽人員表	五六〇
一	至第八十三回議會	
一	自第一回議會印刷物比較表	五六七
一	至第八十三回議會	

第八十三回 帝國議會 貴族院事務局報告

○第一章 召集及成立

昭和十八年十月十三日左ノ帝國議會召集ノ詔書ヲ發セラル

朕帝國憲法第七條及第四十三條ニ依リ本年十月二十五日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集シ三日ヲ以テ會期ト爲スヘキコトヲ命ス

十月二十五日貴族院議員召集ノ詔書ニ依リ貴族院ニ集會シ各其ノ控室ニ入ル午前九時四分議長ハ議員ヲ議場ニ集メ議席表ニ依リ著席セシム

議長ハ本會ノ部屬ハ貴族院規則第六條第二項ニ依リ前會ノ通繼續スル旨ヲ宣告シ次テ議院ニ諮ヒ前會後新ニ議員トナル者ノ部屬ハ抽籤ノ手續ヲ省略シテ就職ノ順序ニ依リ人員最モ少キ部ヨリ順次各部ニ配分スルコトニ決定シ乃チ議長ハ左ノ如ク編入セリ

第三部 寺島健

第五部 伯爵渡邊昭 李家軫鎬

第六部 侯爵 大久保利謙
第八部 鈴木貞一

是ニ於テ議長ハ貴族院成立ノ旨ヲ告ケ散會ヲ宣告ス時ニ午前九時五分ナリ
即日議長ハ貴族院成立ノ旨ヲ政府及衆議院ニ通知セリ

附記

前會ノ部屬ハ本書第八十一回及第八十二回帝國議會事務局報告第一章召
集及成立ノ部參照

○第二章 開會及閉會

○第一節 開會

昭和十八年十月二十六日 天皇陛下貴族院ニ親臨アラセラルレ帝國議會開院ノ
式ヲ行ハセラル

是ヨリ先キ十月二十五日左ノ帝國議會開會ノ詔書ヲ發セラル

朕帝國憲法第七條及議院法第五條ニ依リ十月二十六日ヲ以テ帝國議會ノ開
會ヲ命ス

十月二十六日午前十時貴族院及衆議院ノ議長、副議長、議員各其ノ本院ニ參集ス
午前十時二十五分親王、王、國務大臣、樞密院議長、樞密院副議長、樞密顧問官貴族院
ニ參入ス

午前十時四十分 陛下宮城御出門同十時四十七分貴族院ニ行幸アラセラル親
王、王、國務大臣、樞密院議長、樞密院副議長、樞密顧問官貴族院及衆議院ノ議長御車
寄ニ奉迎シ貴族院及衆議院ノ副議長、高等官門内ニ臚列奉迎ス

陛下便殿ニ著御アラセラル貴族院議長、式部長官、宮内大臣前行シ侍從長、侍從、侍
從武官長、侍從武官御後ニ候ス

次ニ國務大臣、樞密院議長、樞密院副議長、樞密顧問官、貴族院及衆議院ノ議長、副議
長ニ謁ヲ賜フ

午前十一時貴族院及衆議院ノ議長、副議長、議員、書記官長、書記官式場ニ參進本位
ニ就ク

次ニ内閣總理大臣勅語書ヲ奉シテ(内閣書記官 捧持)式場ニ參進續テ國務大臣、樞密院
議長、樞密院副議長、樞密顧問官參進本位ニ就ク

陛下出御アラセラル式部長官、宮内大臣前行シ侍從長、侍從、侍從武官長、侍從武官御後ニ候シ親王、王供奉ス

陛下玉座ニ著御アラセラル各員最敬禮ヲ行フ

内閣總理大臣東條英機勅語書ヲ上ツル

陛下親シク左ノ勅語ヲ賜フ

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕カ外征ノ師ハ萬難ヲ排シテ隨處ニ勇戰奮闘愈、其ノ威武ヲ發揚セリ而シテ

大東亞ノ建設日ヲ逐ヒテ進ミ友邦トノ締盟ハ益、固キヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

今ヤ時局洵ニ重大ナリ宜シク億兆一心更ニ總力ヲ發揮シ以テ敵國ノ非望ヲ

破碎スヘシ朕ハ臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戰ノ目的ヲ達成セムコトヲ

期ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國

議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコ

トヲ望ム

各員拜聽シテ最敬禮ヲ行フ

貴族院議長、伯爵松平賴壽御前ニ參進勅語書ヲ拜受シテ列ニ復ス

陛下入御アラセラル供奉出御ノ時ノ如シ午前十一時八分式畢ル

陛下還御アラセラル便殿ヨリ御車寄マテノ供奉ハ便殿ニ著御ノ時ノ如シ

午前十一時十六分還幸アラセラル親王、王、國務大臣、樞密院議長、樞密院副議長、樞

密顧問官、貴族院及衆議院ノ議長御車寄ニ於テ奉送シ貴族院及衆議院ノ副議長、

高等官門内ニ臚列奉送ス

同日議院ハ議長ノ起草ニ係ル開院式ノ節賜ハリタル勅語ニ對スル奉答書案ノ

會議ヲ開キ全會一致ヲ以テ之ヲ可決ス

十月二十七日議長伯爵松平賴壽ハ勅語奉答書ヲ携ヘテ參内シ午前十一時鳳凰

ノ間ニ於テ謁ヲ賜フ議長御前ニ進ミ左ノ奉答書ヲ朗讀シテ之ヲ捧呈ス

貴族院議長、臣松平賴壽誠恐誠惶謹テ

叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス

爰ニ第八十三回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル

勅語ヲ賜フ恭ク惟ルニ外征ノ皇師ハ萬難ヲ排シテ隨處ニ勇戰奮闘愈々其ノ威武ヲ發揚セリ而シテ大東亞ノ建設日ヲ逐ヒテ進ムヲ見ル寔ニ

陛下ノ威德ニ頼ルニ非ラスンハ焉ソ是ノ如キヲ得ムヤ然リト雖モ今ヤ時局洵ニ重大ナリ

陛下深ク軫念アラセラレ億兆一心更ニ總力ヲ發揮シ以テ敵國ノ非望ヲ破碎シ速ニ征戰ノ目的ヲ達成セムコトヲ宣ハセ給フ

聖慮ノ深遠ナル洵ニ感激ニ勝ヘス臣等謹テ
勅旨ヲ奉體シ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ

皇猷ヲ贊襄セムコトヲ期ス臣等恐懼ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス
陛下左ノ勅語ヲ賜フ

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

十月二十七日議長ハ議院ノ會議ニ於テ奉答書捧呈ノ顛末ヲ報告シ且更ニ賜ハリタル勅語ヲ捧讀ス議員一同拜聽シテ最敬禮ヲ行フ

○第二節 閉會

昭和十八年十月二十八日內閣總理大臣ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

本月二十九日貴族院ニ於テ帝國議會閉院式執行仰出サレ候

十月二十九日午前十一時貴族院及衆議院ノ議長、副議長、議員、書記官長、書記官式場ニ參進本位ニ就ク

次ニ國務大臣(內閣總理大臣ヲ除ク)式場ニ參進本位ニ就ク

次ニ內閣總理大臣勅語書ヲ奉シテ(內閣書記官持)式場ニ參進本位ニ就ク

午前十一時二分內閣總理大臣東條英機進テ左ノ辭ヲ述ヘ勅語ヲ捧讀ス

茲ニ勅命ヲ奉シマシテ勅語ヲ捧讀致シマスル光榮ヲ荷ヒマス

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等克ク朕カ意ヲ體シ協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉獎ス

各員拜聽シテ最敬禮ヲ行フ

次ニ貴族院議長伯爵松平賴壽進テ勅語書ヲ拜受シテ列ニ復ス

次ニ内閣總理大臣退下ス午前十一時五分式畢ル

○第三章 儀禮

○第一節 慶賀

昭和十八年十月二日盛厚王殿下成子内親王殿下ト御結婚納采ノ儀行ハセラレタルニ付同日議長伯爵松平頼壽ハ議院ヲ代表シテ參内シ御祝詞ヲ言上シ次テ大宮御所ニ參入シ又東久邇宮邸ニ參殿シ執モ御祝詞ヲ言上セリ

又同月十三日盛厚王殿下成子内親王殿下ト御結婚ニ付同日議長伯爵松平頼壽ハ議院ヲ代表シテ參内シ 天皇陛下 皇后陛下 皇太后陛下ニ御祝詞ヲ言上シ次テ東久邇宮邸ニ參殿シ御祝詞ヲ言上セリ

○第二節 祝電

昭和十八年八月一日緬甸國獨立ニ付議長伯爵松平頼壽ハ即日同國內閣總理大臣宛左ノ電報ヲ發送セリ

友邦緬甸國多年ノ宿望ヲ達シテ獨立ノ光榮ヲ獲ラル洵ニ慶賀ニ勝ヘズ茲ニ貴族院ヲ代表シテ深厚ナル祝意ヲ致シ併セテ國運ノ興隆ト大東亞共榮圈ノ

確立ニ一意邁進セラレンコトヲ望ム

因ニ記ス 右祝電ニ對シ同年八月六日バーモウ同國內閣總理大臣ヨリ謝電ヲ受領セリ

同年十月十四日フィリピン共和國獨立ニ付議長伯爵松平頼壽ハ即日同國大統領宛左ノ電報ヲ發送セリ

フィリピン共和國新ニ獨立ヲ宣言シ其ノ宿望ヲ達成セラル洵ニ慶賀ニ勝ヘズ茲ニ貴族院ヲ代表シテ深厚ナル祝意ヲ致シ併セテ大東亞共榮圈ノ一環トシテ國運ノ隆昌ニ一意邁進セラレンコトヲ祈ル

因ニ記ス 右祝電ニ對シ同年十月二十一日ホセビトラウレル同國大統領ヨリ謝電ヲ受領セリ

○第四章 議員、全院委員長、國務大臣及政府委員

○第一節 議員議席

昭和十八年十月二十八日現在議員ノ議席左ノ如シ

- 一 雅仁親王
- 二 宣仁親王

三	崇仁親王	四	載仁親王
五	博恭王	六	武彥王
七	恒憲王	八	邦壽王
九	朝融王	十	守正王
十一	鳩彥王	十二	孚彥王
十三	稔彥王	十四	盛厚王
十五	恒德王	十六	春仁王
十七	公爵島津忠重	十八	公爵一條實孝
十九	公爵三條公輝	二十	公爵德川圀順
二十一	公爵鷹司信輔	二十二	公爵大山柏
二十三	公爵近衛文麿	二十四	公爵西園寺八郎
二十五	公爵德川家正	二十六	公爵島津忠承
二十七	公爵德大寺實厚	二十八	公爵山縣有道
二十九	公爵九條道秀	三十	公爵伊藤博精

三十一	公爵岩倉具榮	三十二	公爵桂廣太郎
三十三	公爵毛利元道	三十四	公爵二條弼基
三十五	公爵德川慶光	三十六	侯爵鍋島直映
三十七	侯爵山内豊景	三十八	侯爵池田仲博
三十九	侯爵西郷從德	四十	侯爵廣幡忠隆
四十一	侯爵德川義親	四十二	侯爵小松輝久
四十三	侯爵中御門經恭	四十四	侯爵木戶幸一
四十五	侯爵大隈信常	四十六	侯爵細川護立
四十七	侯爵菊亭公長	四十八	侯爵佐竹義春
四十九	侯爵醍醐忠重	五十	侯爵佐佐木行忠
五十一	侯爵山階芳麿	五十二	侯爵東郷彪
五十三	侯爵井上三郎	五十四	侯爵嵯峨實勝
五十五	侯爵黒田長禮	五十六	侯爵徳川頼貞
五十七	侯爵松平康昌	五十八	侯爵中山輔親

五十九	侯爵池田宣政	六十	侯爵筑波藤麿
六十一	侯爵伊達宗彰	六十二	侯爵華頂博信
六十三	侯爵蜂須賀正氏	六十四	侯爵久我通顯
六十五	侯爵西郷吉之助	六十六	侯爵大炊御門經輝
六十七	侯爵小村捷治	六十八	侯爵大久保利謙
六十九	侯爵四條隆德	七十	侯爵前田利建
七十一	侯爵淺野長武	七十二	伯爵柳原義光
七十三	伯爵樺山愛輔	七十四	伯爵副島道正
七十五	伯爵林博太郎	七十六	伯爵松平頼壽
七十七	伯爵兒玉秀雄	七十八	伯爵溝口直亮
七十九	伯爵黒木三次	八十	伯爵二荒芳徳
八十一	伯爵堀田正恒	八十二	伯爵山本清
八十三	伯爵橋本實斐	八十四	伯爵酒井忠正
八十五	伯爵柳澤保承	八十六	伯爵後藤一藏

八十七	伯爵徳川宗敬	八十八	伯爵大木喜福
八十九	伯爵渡邊昭	九十	男爵山本達雄
九十一	男爵大井成元	九十二	男爵若槻禮次郎
九十三	子爵青木信光	九十四	子爵冷泉爲勇
九十五	男爵安保清種	九十六	男爵幣原喜重郎
九十七	子爵西大路吉光	九十八	子爵前田利定
九十九	關屋貞三郎	百	阿部信行
百一	子爵井上匡四郎	百二	廣田弘毅
百三	子爵曾我祐邦	百四	子爵清岡長言
百五	子爵野村益三	百六	子爵今城定政
百七	子爵大河内正敏	百八	子爵松平保男
百九	子爵加藤泰通	百十	子爵立花種忠
百十一	子爵秋月種英	百十二	子爵大河内輝耕
百十三	子爵谷儀一	百十四	子爵松平乘統

百十五	子爵 八條隆正	百十六	子爵 伊藤二郎丸
百十七	子爵 河瀨 眞	百十八	子爵 保科正昭
百十九	子爵 岡部長景	百二十	子爵 宍戶功男
百二十一	子爵 秋田重季	百二十二	子爵 高橋是賢
百二十三	子爵 實吉純郎	百二十四	子爵 秋元春朝
百二十五	子爵 松平忠壽	百二十六	子爵 米田國臣
百二十七	子爵 西尾忠方	百二十八	子爵 大島陸太郎
百二十九	子爵 波多野二郎	百三十	子爵 富小路隆直
百三十一	子爵 裏松友光	百三十二	子爵 植村家治
百三十三	子爵 戶澤正己	百三十四	子爵 梅園篤彥
百三十五	子爵 織田信恒	百三十六	子爵 安藤信昭
百三十七	子爵 北小路三郎	百三十八	子爵 高木正得
百三十九	子爵 大岡忠綱	百四十	子爵 大久保教尙
百四十一	子爵 本多忠晃	百四十二	子爵 京極高修

百四十三	子爵 北條篤八	百四十四	子爵 柳澤光治
百四十五	子爵 舟橋清賢	百四十六	子爵 松平康春
百四十七	子爵 土岐 章	百四十八	子爵 綾小路 護
百四十九	子爵 入江爲常	百五十	子爵 三島通陽
百五十一	子爵 錦小路賴孝	百五十二	子爵 松平親義
百五十三	子爵 阪谷希一	百五十四	子爵 仙石久英
百五十五	子爵 牧野康熙	百五十六	子爵 伊集院兼高
百五十七	子爵 藤井兼誼	百五十八	子爵 上原七之助
百五十九	子爵 池田政銀	百六十	子爵 稻垣長賢
百六十一	子爵 由利正通	百六十二	子爵 水野勝邦
百六十三	子爵 京極高銳	百六十四	田中館愛橘
百六十五	木場貞長	百六十六	長岡半太郎
百六十七	松井 茂	百六十八	水野鍊太郎
百六十九	犬塚勝太郎	百七十	織田 萬

百七十一	小山 松吉	百七十二	男爵 赤松 範一
百七十三	光行 次郎	百七十四	有吉 忠一
百七十五	姊崎 正治	百七十六	芳澤 謙吉
百七十七	中川 健藏	百七十八	平塚 廣義
百七十九	小原 直	百八十	河井 彌八
百八十一	男爵 東久世 秀雄	百八十二	出淵 勝次
百八十三	入江 貫一	百八十四	男爵 淺田 良逸
百八十五	木村 尙達	百八十六	八田 嘉明
百八十七	松村 眞一郎	百八十八	男爵 黒田 長和
百八十九	男爵 井田 磐楠	百九十	男爵 岩倉 道俱
百九十一	男爵 今園 國貞	百九十二	東郷 茂德
百九十三	村上 恭一	百九十四	石黒 忠篤
百九十五	後藤 文夫	百九十六	有田 八郎
百九十七	下條 康麿	百九十八	吉田 茂

百九十九	河原田 稼吉	二百	大野 綠一郎
二百一	鈴木 貞一	二百二	廣瀬 久忠
二百三	賀屋 興宣	二百四	青木 一男
二百五	安井 英二	二百六	石渡 莊太郎
二百七	男爵 向山 均	二百八	三井 清一郎
二百九	内田 重成	二百十	岡 喜七郎
二百十一	仁井田 益太郎	二百十二	藤原 銀次郎
二百十三	男爵 辻 太郎	二百十四	勝田 主計
二百十五	坂西 利八郎	二百十六	建部 遜吾
二百十七	川村 竹治	二百十八	太田 政弘
二百十九	塚本 清治	二百二十	小林 一三
二百二十一	男爵 小畑 大太郎	二百二十二	山川 端夫
二百二十三	男爵 高木 喜寛	二百二十四	小倉 正恒
二百二十五	下村 宏	二百二十六	男爵 中川 良長

二百二十七	男爵 松岡均平	二百二十八	田中都吉
二百二十九	結城豊太郎	二百三十	伍堂卓雄
二百三十一	松本 丞治	二百三十二	村田省藏
二百三十三	田邊治通	二百三十四	男爵 前田 勇
二百三十五	左近司政三	二百三十六	男爵 山中秀二郎
二百三十七	男爵 井上清純	二百三十八	男爵 高崎弓彦
二百三十九	男爵 久保田敬一	二百四十	男爵 伊江朝助
二百四十一	男爵 周布兼道	二百四十二	男爵 大藏公望
二百四十三	男爵 東 郷 安	二百四十四	寺 島 健
二百四十五	田口 弼一	二百四十六	白根竹介
二百四十七	男爵 矢吹省三	二百四十八	男爵 大森佳一
二百四十九	男爵 渡邊 汀	二百五十	河田 烈
二百五十一	横山助成	二百五十二	長 世 吉
二百五十三	男爵 北島貴孝	二百五十四	男爵 柴山昌生

二百五十五	堀切善次郎	二百五十六	男爵 飯田精太郎
二百五十七	黒崎定三	二百五十八	男爵 伊藤文吉
二百五十九	大橋八郎	二百六十	長谷川赴夫
二百六十一	男爵 原田熊雄	二百六十二	男爵 伊藤一郎
二百六十三	湯澤三千男	二百六十四	吉野信次
二百六十五	男爵 松平外與麿	二百六十六	村瀬直養
二百六十七	男爵 鶴殿家勝	二百六十八	星野直樹
二百六十九	男爵 山 川 建	二百七十	男爵 松田正之
二百七十一	男爵 近藤滋彌	二百七十二	男爵 本多政樹
二百七十三	男爵 八代五郎造	二百七十四	男爵 安場保健
二百七十五	男爵 奥田剛郎	二百七十六	男爵 渡邊修二
二百七十七	男爵 關 義 壽	二百七十八	男爵 三須精一
二百七十九	男爵 稻田昌植	二百八十	男爵 杉溪由言
二百八十一	男爵 中御門經民	二百八十二	男爵 肝付兼英

二百八十三	男爵 加藤成之	二百八十四	男爵 岩村一木
二百八十五	男爵 山根健男	二百八十六	男爵 坊城俊賢
二百八十七	男爵 毛利元良	二百八十八	男爵 島津忠彥
二百八十九	男爵 益田太郎	二百九十	男爵 深尾隆太郎
二百九十一	男爵 古市六三	二百九十二	男爵 神山嘉瑞
二百九十三	男爵 北大路信明	二百九十四	男爵 西 酉 乙
二百九十五	男爵 村田保定	二百九十六	男爵 水谷川忠麿
二百九十七	男爵 宮原 旭	二百九十八	男爵 明石元長
二百九十九	男爵 倉富 鈞	三百	中村純九郎
三百一	福永吉之助	三百二	橋本圭三郎
三百三	李家軫鎬	三百四	倉知鐵吉
三百五	市來乙彦	三百六	坂野鉄次郎
三百七	中川 望	三百八	山岡萬之助
三百九	三浦新七	三百十	宮田光雄

三百十一	黑田英雄	三百十二	大塚惟精
三百十三	遠藤柳作	三百十四	竹内可吉
三百十五	森山銳一	三百十六	富田健治
三百十七	川上親晴	三百十八	中川小十郎
三百十九	田所美治	三百二十	有賀光豐
三百二十一	澤田牛麿	三百二十二	青木周三
三百二十三	西野 元	三百二十四	赤池 濃
三百二十五	藤沼庄平	三百二十六	次田大三郎
三百二十七	松村義一	三百二十八	丸山鶴吉
三百二十九	長岡隆一郎	三百三十	瀧 正 雄
三百三十一	松本 學	三百三十二	竹下豐次
三百三十三	唐澤俊樹	三百三十四	徳富猪一郎
三百三十五	大橋新太郎	三百三十六	古島一雄
三百三十七	小坂順造	三百三十八	太田耕造

三百三十九	今井五介	三百四十	稻畑勝太郎
三百四十一	堀啓次郎	三百四十二	兒玉謙次
三百四十三	千石興太郎	三百四十四	鮎川義介
三百四十五	結城安次	三百四十六	田澤義鋪
三百四十七	澁澤金藏	三百四十八	内藤久寛
三百四十九	米山梅吉	三百五十	安宅彌吉
三百五十一	瀧川儀作	三百五十二	野村徳七
三百五十三	板谷宮吉	三百五十四	佐々木八十八
三百五十五	磯野庸幸	三百五十六	三橋四郎次
三百五十七	大橋理祐	三百五十八	光永星郎
三百五十九	奥村嘉藏	三百六十	當間重民
三百六十一	下出民義	三百六十二	磯貝浩
三百六十三	江口定條	三百六十四	橋本辰二郎
三百六十五	山隈康	三百六十六	野村茂久馬

三百六十七	菅澤重雄	三百六十八	熊谷三太郎
三百六十九	吉村友之進	三百七十	鈴木幸作
三百七十一	小坂梅吉	三百七十二	河西豊太郎
三百七十三	松本勝太郎	三百七十四	岩田宙造
三百七十五	田中穂積	三百七十六	田部長右衛門
三百七十七	伊藤傳七	三百七十八	平沼亮三
三百七十九	佐々木嘉太郎	三百八十	中島徳太郎
三百八十一	水野甚次郎	三百八十二	塩田團平
三百八十三	中山太一	三百八十四	小野耕一
三百八十五	大藪守治	三百八十六	米原章三
三百八十七	松井貞太郎	三百八十八	片倉兼太郎
三百八十九	山上岩二	三百九十	麻生益良
三百九十一	出光佐三	三百九十二	上野松次郎
三百九十三	二瓶泰次郎	三百九十四	松岡潤吉

三百九十五	齋藤万壽雄	三百九十六	大西虎之介
三百九十七	古莊健次郎	三百九十八	永瀬寅吉
三百九十九	岩田三史	四百	渡邊覺造
四百一	大谷五平	四百二	飯塚知信
四百三	諸橋久太郎	四百四	佐々木長治
四百五	野田六左衛門	四百六	奥主一郎
四百七	秋田三一	四百八	栗林徳一
四百九	佐藤助九郎	四百十	中野敏雄
四百十一	柴田兵一郎	四百十二	上野喜左衛門
四百十三	渡邊甚吉	四百十四	岩元達一

○第二節 議員異動

○第一 死亡及弔辭

昭和十八年七月十三日議員軍人援護對策審議會委員錦鷄間祇候正二位位階追陞勳一等勳等陸敍侯爵大久保利武薨去ス依テ同月十四日左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員軍人援護對策審議會委員錦鷄間祇候從二位勳二等侯爵大久保

利武君ノ長逝ヲ追悼シ恭ク弔辭ヲ呈ス(弔辭ハ本文例ニ同シキヲ以テ他ハ之ヲ略ス)

同年七月二十三日議員正四位勳二等岡田文次卒去ス依テ同月二十四日弔辭ヲ贈レリ

同年八月二十五日議員正三位勳二等柴田善三郎薨去ス依テ同月二十六日弔辭ヲ贈レリ

同年九月十七日議員教科用圖書調查會委員陸軍省事務囑託正三位勳一等永田秀次郎薨去ス依テ同月二十一日弔辭ヲ贈レリ

○第二 辭職

昭和十八年十月二十日 正三位勳一等 小野塚喜平次

○第三 當選

正四位伯爵 渡邊 昭

昭和十八年六月二十四日伯爵議員補闕選舉ニ當選

○第四 就職

昭和十八年九月一日

從四位 侯爵 大久保利謙

○第五 勅任

昭和十八年十月八日勅選

正三位勳二等 鈴木貞一

同

從三位勳一等 寺島 健

同

正四位勳三等 李家軫 鎬

○第三節 全院委員長

昭和十八年十月二十六日議院法第二十一條第一項ニ依リ全院委員長ノ選舉ヲ行フ議院ハ議員ノ動議ニ依リ貴族院規則第二十一條ノ手續ヲ省略シテ公爵徳川圀順ヲ全院委員長ニ決定セリ

○第四節 國務大臣及政府委員

本會期ニ於ケル國務大臣及政府委員左ノ如シ

○國務大臣

內閣總理大臣兼
陸軍大臣商工大臣
厚生大臣
東條英機
小泉親彦

司法大臣	岩村通世
海軍大臣	嶋田繁太郎
大藏大臣	賀屋興宣
國務大臣	岸 信 介
鐵道大臣兼 遞信大臣	八田 嘉明
內務大臣	安藤紀三郎
大東亞大臣	青木 一男
外務大臣	重 光 葵
農林大臣	山崎達之輔
國務大臣	大 麻 唯 男
文部大臣子爵	岡部長景
國務大臣	後藤文夫

○政府委員

政府委員

內閣書記官長	星野直樹
法制局長官	森山銳一
法制局參事官	佐藤基
同	入江俊郎
同	佐藤達夫
企畫院次長	安倍源基
企畫院部長	梶原茂嘉
同	柏原兵太郎
同	原鼎三
同	堀田健男
同	渡邊渡
企畫院調查官	平井豊一
情報局總裁	天羽英二
情報局次長	村田五郎

外務省所管事務政府委員

內務省所管事務政府委員

情報局情報官	堀公一
同	橋本政實
同	武藤富男
技術院總裁子爵	井上匡四郎
技術院次長	和田小六
技術院參技官	本多靜雄
特許局長官	中村幸八
外務次官	松本俊一
外務省政務局長	上村伸一
外務省調查局長	山田芳太郎
內務次官	唐澤俊樹
內務省地方局長	新居善太郎

昭和十八年十月二十六日被仰付
昭和十八年十月二十七日被仰付

大藏省所管事務政府委員

內務省警保局長	町村金五
內務省國土局長	宮村才一郎
內務省防空局長	上田誠一
內務省管理局長	竹內德治
內務書記官	小林千秋
同	友末洋治
同	中島賢藏
朝鮮總督府政務總監	田中武雄
朝鮮總督府財務局長	水田直昌
臺灣總督府總務長官	齋藤樹
臺灣總督府財務局長	高橋衛
大藏次官	谷口恒二
大藏省總務局長	迫水久常

陸軍省所管事務政府委員

大藏省主計局長	植木庚子郎
大藏省主稅局長	松隈秀雄
大藏省理財局長	田中豐
大藏省銀行局長	山際正道
專賣局長官	木內四郎
大藏書記官	前田克巳
同	窪谷直光
陸軍次官	富永恭次
陸軍法務中將	大山文雄
陸軍主計中將	栗橋保正
陸軍中將	吉積正雄
陸軍少將	佐藤賢了
同	那須義雄

昭和十八年十月二十六日被仰付

海軍省所管事務政府委員

陸軍主計大佐 遠藤武勝
陸軍大佐 二宮義清

昭和十八年十月二十六日被仰付

海軍次官 澤本賴雄
海軍法務中將 尾畑義純
海軍中將 岡敬純

海軍主計中將 山本丑之助

海軍少將 保科善四郎

海軍大佐 矢牧章

海軍主計大佐 山沖芳市

司法省所管事務政府委員

司法次官 大森洪太

司法省民事局長 齋藤直一

司法省刑事局長 池田克

文部省所管事務政府委員

文部次官 菊池豐三郎

文部省總務局長 藤野惠

文部省專門教育局長 永井浩

農林省所管事務政府委員

農林次官 石黒武重

農林省總務局長 重政誠之

農林書記官 笹山茂太郎

食糧管理局長官 湯河元威

商工省所管事務政府委員

商工省總務局長 椎名悅三郎

商工省企業局長 豊田雅孝

商工省金屬局長 高嶺明達

商工省化學局長 津田廣

昭和十八年十月二十六日被仰付

遞信省所管事務政府委員

商工省機械局長	美濃部洋次
商工省纖維局長	山口 喬
商工省交易局長	山本 茂
商工書記官	赤間文三
同	北野重雄
燃料局長官	菱沼 勇
物價局長官	西川 浩
金屬回收本部長	難波經一
遞信次官	小松 茂
遞信省總務局長	小林武治
遞信省電氣局長	塩原時三郎
海務院長官	妹尾知之
海務院次長	安田丈助

鐵道省所管事務政府委員

海務院部長 新谷寅三郎

鐵道次官	長崎惣之助
鐵道監	平山 孝
同	佐藤榮作
同	堀木鎌三
同	三浦義男

厚生省所管事務政府委員

厚生次官	武井群嗣
厚生省勤勞局長	中村敬之進
厚生書記官	青柳一郎

大東亞省所管事務政府委員

大東亞次官	山本熊一
大東亞省總務局長	竹内新平

大東亞省滿洲事務局長 今吉敏雄
 大東亞省支那事務局長 宇佐美珍彦
 大東亞省南方事務局長 水野伊太郎
 大東亞書記官 華山親義

(備考) 政府委員被仰付ノ日附記入ナキモノハ孰モ本期議會召集日即チ昭和十八年十月二十五日被仰付

○第五章 諸表

左ニ議案件數表、議案表、質問表、議事日表、自第一回議會開會日時、議案件數及議事件數比較表、委員會表、常任委員會表、自第一回議會請願書受領件數比較表、自第一回議會會議員出席比例一覽表、自第一回議會傍聽人員表、自第一回議會印刷物比較表ヲ掲ケテ各其ノ概要ヲ知ルノ便ニ供ス

議案件數表

種	目		件數	可決
	本院へ提出			
	送衆議院ヨリ	付リ		
政府提出	法律案	六	六	六
	豫算案(追加案)	八	八	八
貴族院議員提出	豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件	一	一	一
	動議案	一	一	一
合計		一八	一八	一八

附錄

質問

書面ヲ以テ答辯アリシモノ

議

案

表

第八十三回 諸表(議案表)

四七九

○議案表目次

○法律案

○政府提出案

一 工業所有權法戰時特例案	四八四頁
一 防空法中改正法律案	四八六
一 兵役法中改正法律案	四八八
一 裁判所構成法戰時特例中改正法律案	四九〇
一 戰時民事特別法中改正法律案	四九二
一 戰時刑事特別法中改正法律案	四九四
一 會計法戰時特例中改正法律案	四九六
一 帝國鐵道會計法中改正法律案	四九八
一 所得稅法及地租法中改正法律案	五〇〇
一 國有財產法中改正法律案	五〇二
一 國債關係事務簡捷化ニ關スル法律案	五〇四

一衆議院議員ニシテ大東亞戰爭ニ際シ召集中ナルニ因
リ其ノ職ヲ失ヒタルモノノ補闕及復職ニ關スル法律
案

五〇六

一昭和十三年法律第八十四號中改正法律案

五〇八

一軍需會社法案

五一〇

●豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要ス
ル件

一昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)(内務大藏
大東亞農
商軍需運輸
信各省所管)

五二二

一昭和十八年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)
(内務大藏
各省所管)

五一四

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件
(追第一號)(内務大藏
各省所管)

五一六

○動議

一陸海軍ニ對スル感謝決議案

五一八

案律法出提府政

議案題目	會	委員	國務大臣出席	
工業所有權法戰時特例案	(本會議) 昭和十八年十月二十六日 第一讀會 同二十七日 第二讀會 同日 第三讀會 同日	昭和十八年十月二十六日選定(議長指名) 特別委員 公爵二條 弼基 侯爵中御門經恭 伯爵柳澤 保承 子爵河瀬 眞 子爵保科 正昭 子爵高橋 是賢 村上 恭一 大橋 八郎 長谷川 越夫 副委員長 男爵肝付 兼英 男爵村田 保定 男爵明石 元長 富田 健治 有賀 光豊 野村茂久馬	昭和一十八年十月二十七日 可決	昭和一十八年十月三十一日 法律第九號
衆議院議院復往	昭和一十八年十月二十七日 可決	昭和一十八年十月二十七日 可決	昭和一十八年十月二十七日 可決	

第八十三回 諸表(議案表)

四八四

備考	備
	昭和十八年十月二十六日本案ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第二號ヲ以テ第一讀會ノ級ヲ二十七日ト定メ 同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス
	小坂 梅吉 松本勝太郎 古莊健次郎 永瀬 寅吉
	特許局長 中村 幸八 司法次官 大森 洪太 司法省民 齋藤 直一 司法省刑 池田 克 事局長

第八十三回 諸表(議案表)

四八五

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
防空法中改正法律案	(本會議) 昭和十八年十月二十六日 十月二十七日 同日	第一讀會 第二讀會 第三讀會	昭和十八年十月二十六日選定(議長指名)特別委員 委員長 公爵山縣 有道 侯爵淺野 長武 伯爵二荒 芳德 子爵立花 種忠 子爵伊東二郎丸 子爵梅園 篤彦 松井 茂 男爵淺田 良逸 男爵北大路信明 男爵水谷川忠麿 遠藤 柳作 赤池 濃 堀 啓次郎 結城 安次	國務大臣出席 政府委員出席 (本會議) 昭和十八年十月二十六日 內閣總理大臣兼陸軍大臣商工大臣 東條 英機 厚生大臣 小泉 親彦 司法大臣 岩村 通世 海軍大臣 嶋田繁太郎 大藏大臣 賀屋 興宣 鐵道大臣 八田 嘉明 兼遞信大臣 內務大臣 安藤紀三郎 政府委員 內務次官 唐澤 俊樹 內務省防空局長 上田 誠一 內務書記官 友末 洋治 陸軍次官 富永 恭次 陸軍少將 佐藤 賢了 同 那須 義雄
提出 昭和十八年十月二十六日 政府提出	昭和十八年十月二十六日 十月二十七日 同日	(委員會) 會 會 議	副委員長 男爵淺田 良逸 安井 英二 堀切善次郎 男爵北大路信明 男爵水谷川忠麿 遠藤 柳作 赤池 濃 堀 啓次郎 結城 安次	內閣總理大臣兼陸軍大臣商工大臣 東條 英機 厚生大臣 小泉 親彦 司法大臣 岩村 通世 海軍大臣 嶋田繁太郎 大藏大臣 賀屋 興宣 鐵道大臣 八田 嘉明 兼遞信大臣 內務大臣 安藤紀三郎 政府委員 內務次官 唐澤 俊樹 內務省防空局長 上田 誠一 內務書記官 友末 洋治 陸軍次官 富永 恭次 陸軍少將 佐藤 賢了 同 那須 義雄
決議 昭和十八年十月二十七日 可決	同日	會 議	內閣總理大臣兼陸軍大臣商工大臣 東條 英機 厚生大臣 小泉 親彦 司法大臣 岩村 通世 海軍大臣 嶋田繁太郎 大藏大臣 賀屋 興宣 鐵道大臣 八田 嘉明 兼遞信大臣 內務大臣 安藤紀三郎 政府委員 內務次官 唐澤 俊樹 內務省防空局長 上田 誠一 內務書記官 友末 洋治 陸軍次官 富永 恭次 陸軍少將 佐藤 賢了 同 那須 義雄	同日
公布 昭和十八年十月三十一日 法律第四百四號				
衆議院議案 復往院議案 昭和十八年十月二十七日可決 衆議院ニ送付ス 同日衆議院ヨリ本案ヲ 可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ 受領ス				

第八十三回 諸議案表

四八六

考 備

昭和十八年十月二十六日本案ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ	磯貝 浩 岩田 三史 栗林 徳一	厚生大臣 小泉 親彦 司法大臣 岩村 通世 海軍大臣 嶋田繁太郎 大藏大臣 賀屋 興宣 鐵道大臣 八田 嘉明 兼遞信大臣 內務大臣 安藤紀三郎 政府委員 內務次官 唐澤 俊樹 內務省防空局長 上田 誠一 內務書記官 友末 洋治 陸軍次官 富永 恭次 陸軍少將 佐藤 賢了 同 那須 義雄
---	------------------------	--

第八十三回 諸議案表(議案表)

四八七

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
裁判所構成法戰時 特例中改正法律案 昭和三十八年十月二十六日 政府提出	(本會議) 昭和三十八年十月二十六日 第一讀會 同 二十七日 第二讀會 同 日 第三讀會	昭和三十八年十月二十七日 可決	昭和三十八年十月三十一日 法律第五百五號	昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日
昭和三十八年十月二十六日日本案ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同二十七日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續 第二、第三讀會ヲ加フ	松井貞太郎 奥 主一郎 連繫事件トシテ本案外二件ヲ同一ノ特別委員ニ付託ス	昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日	昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日	昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日 昭和三十八年十月二十六日 昭和三十八年十月二十七日

第八十三回 諸表(議案表)

四九〇

考 備

<p>昭和三十八年十月二十六日日本案ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同二十七日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續 第二、第三讀會ヲ加フ</p>	<p>松井貞太郎 奥 主一郎 連繫事件トシテ本案外二件ヲ同一ノ特別委員ニ付託ス</p>
---	---

第八十三回 諸表(議案表)

四九一

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
戰時民事特別法中 改正法律案	昭和十八年十月二十六日 同二十七日 同日	(本會議) 第一讀會 第二讀會 第三讀會	昭和十八年十月二十 六日 連繫事件トシテ裁 判所構成法戰時特 例中改正法律案ト 同一ノ特別委員ニ 付託ス	國務大臣 政府委員 出席 (本會議) 出席國務大臣政府委 員ハ裁判所構成法戰 時特例中改正法律案 ニ同シ
提出 昭和十八年十月二十六日 政府提出	昭和十八年 十月二十六日 同二十七日	會 議		
決議 昭和十八年十月二十七日 可決	昭和十八年 十月二十六日 同二十七日	會 議		
上奏				
公布 昭和十八年十月三十一日 法律第百六號				
衆議院議案 復往院議案				

第八十三回 諸表(議案表)

四九二

備考	備
	昭和十八年十月二十六日本案ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同二十七日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ

第八十三回 諸表(議案表)

四九三

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
<p>戰時刑事特別法中 改正法律案</p> <p>昭和十八年十月二十六日 政府提出</p>	<p>(本會議)</p> <p>昭和十八年 十月二十六日 第一讀會</p> <p>同 二十七日 第二讀會</p> <p>同 日 第三讀會</p>	<p>昭和十八年十月二十七日 可決</p>	<p>昭和十八年十月二十七日 可決</p>	<p>國務大臣 出席</p> <p>(本會議) 昭和十八年十月二十六日</p> <p>內閣總理 東條 英機 大臣兼陸軍大臣 岩村 通世 司法大臣 嶋田繁太郎 海軍大臣 政府委員 嶋田繁太郎</p> <p>政府委員 陸軍次官 富永 恭次 陸軍法務中將 大山 文雄 陸軍主計中將 栗橋 保正 陸軍少將 那須 義雄 陸軍大佐 二宮 義清 海軍次官 澤本 賴雄 海軍中將 岡 敬純 海軍主計中將 山本丑之助 海軍大佐 矢牧 章 海軍主計大佐 山沖 芳市</p>
<p>復往院議衆</p> <p>昭和十八年十月三十一日 法律第七號</p>				

第八十三回 諸表(議案表)

四九五

考	備
	<p>昭和十八年十月二十六日本案ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同二十七日委員長ヨリ可決報告ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續 第二第三讀會ヲ加フ</p>
	<p>司法省刑 池田 克 事局長 同 二十七日 內閣總理 東條 英機 大臣兼陸軍大臣 岩村 通世 司法大臣 嶋田繁太郎 海軍大臣 政府委員 嶋田繁太郎</p> <p>政府委員 陸軍次官 富永 恭次 陸軍法務中將 大山 文雄 陸軍少將 佐藤 賢了 同 那須 義雄 海軍法務中將 尾畑 義純 司法次官 大森 洪太 司法省民 齋藤 直一 司法省刑 池田 克 事局長</p>

第八十三回 諸表(議案表)

四九五

案律法出提府政

議案題目	會	議	委	員	出席
會計法戰時特例中 改正法律案	(本會議) 昭和十八年十月二十七日	第一讀會	昭和三十八年十月二十七日(議長指名)	特別委員 侯爵井上 三郎 侯爵四條 隆德 伯爵堀田 正恒	(本會議) 昭和十八年十月二十七日 國務大臣出席
政府提出(案議院二)	同 日	第二讀會	子爵裏松 友光	內閣總理 東條 英機 大臣 賀屋 興宣	
議決	昭和十八年十月二十八日	會 議	副委員長 子爵裏松 友光 子爵松平 親義	政府委員 大藏次官 谷口 恒二 大藏省理 田中 豐 財局長 田中 豐 大藏書記 窪谷 直光	
奏上	昭和十八年十月二十八日		委員 男爵島津 忠彥 男爵深尾隆太郎	同 二十八日 內閣總理 東條 英機 大臣 賀屋 興宣	
公布	昭和十八年十月三十一日		長 男爵深尾隆太郎	政府委員 大藏省主 植木庚子郎 計局長 植木庚子郎 大藏書記 窪谷 直光	
衆議院議復	昭和十八年十月二十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル		男爵深尾隆太郎		
	同 二十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス		柴田兵一郎		

第八十三回 諸表(議案表)

四九六

考	備
	昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ十五名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第三號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ二十八日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日二十八日議事日程ヲ變更シテ第二、第三讀會ヲ加フ

第八十三回 諸表(議案表)

四九七

案律法出提府政

議案題目	所得稅法及地租法 中改正法律案	會 議	委 員	出席
提出	昭和十八年十月二十六日 政府提出(衆議院)	(本會議) 昭和十八年十月二十七日 第一讀會 同二十八日 第二讀會 同日 第三讀會	昭和十八年十月二十七日 連繫事件トシテ會計法戰時特例中改正法律案ト同一ノ特別委員ニ付託ス	國務大臣 政府委員 (本會議) 出席國務大臣政府委員ハ會計法戰時特例中改正法律案ニ同シ
決議	昭和十八年十月二十八日 可決	昭和十八年十月二十七日 會 議		
上奏	昭和十八年十月二十八日 裁可ヲ奏請ス			
公布	昭和十八年十月三十一日 法律第百二號			
衆議院議案	昭和十八年十月二十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同二十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第八十三回 諸表(議案表)

五〇〇

備 考	<p>昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ)</p> <p>同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ</p> <p>同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス</p> <p>同日右報告書ヲ配付ス</p> <p>同日議事日程第三號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ二十八日ト定メ</p> <p>同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス</p> <p>同二十八日議事日程ヲ變更シテ第二、第三讀會ヲ加フ</p>
-----	---

第八十三回 諸表(議案表)

五〇一

案律法出提府政

議案題目	會	委員	國務大臣出席 政府委員出席
國有財産法中改正 法律案	(本會議) 昭和十八年十月二十八日 第一讀會 同二十八日 第二讀會 同日 第三讀會 同	昭和十八年十月二十七日 連繫事件トシテ會計法戰時特例中改正法律案ト同一ノ特別委員ニ付託ス	(本會議) 出席國務大臣 政府委員 ハ會計法戰時特例中改正法律案ニ同シ
提出	(委員會) 昭和十八年十月二十七日 會		
議決			
奏上			
公布			
衆議院議院復			
昭和十八年十月二十八日 裁可ヲ奏請ス			
昭和十八年十月三十一日 法律第百二號			
昭和十八年十月二十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラレ 同二十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第八十二回 諸表(議案表)

五〇二

備	昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第三號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ二十八日ト定メ 同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同二十八日議事日程ヲ變更シテ第二、第三讀會ヲ加フ
考	

第八十三回 諸表(議案表)

五〇三

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
國債關係事務簡捷 化ニ關スル法律案 昭和十八年十月二十六日 政府提出(院議)	(本會議) 昭和十八年 十月二十七日 第一讀會 同二十八日 第二讀會 同日 第三讀會		昭和十八年十月二十 七日 連繫事件トシテ會 計法戰時特例中改 正法律案ト同一ノ 特別委員ニ付託ス	國務大臣 出席 (本會議) 出席國務大臣政府委 員ハ會計法戰時特例 中改正法律案ニ同シ
出提 昭和十八年十月二十八日 可決	(委員會) 昭和十八年 十月二十七日 會 議			
上奏 昭和十八年十月二十八日 裁可ヲ奏請ス				
公布 昭和十八年十一月十日 法律第百一十一號				
衆議院議案 昭和十八年十月二十七日衆議 院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政 府提出案ヲ送付セラル 同二十八日本案可決ノ旨ヲ衆 議院ニ通知ス				

第八十三回諸表(議案表)

五〇四

備考	備
	昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十 月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第三號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ二十八日ト定メ 同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同二十八日議事日程ヲ變更シテ第二、第三讀會ヲ加フ

第八十三回諸表(議案表)

五〇五

案律法出提府政

第八十三回 諸表(議案表)

議案題目	會	議	委員	國務大臣出席
衆議院議員ニシテ大東亞戰爭ニ際シ召集中ナルニ因リ其ノ職ヲ失ヒタルモノノ補闕及復職ニ關スル法律案	昭和十八年十月二十七日 同二十八日 同日	(本會議) 第一讀會 第二讀會 第三讀會	昭和十八年十月二十七日選定(議長指名) 特別委員 侯爵徳川 頼貞 伯爵徳川 宗敬 委員 子爵會我 祐邦 子爵松平 忠壽 織田 萬 男爵井上 清純 男爵本多 政樹 副委員長 瀧 正雄 松本 學 水野甚次郎 塩田 團平 秋田 三一 連繫事件トシテ本案外一件ヲ同一ノ特別委員ニ付託ス	昭和十八年十月二十七日 (本會議) 內閣總理 東條 英機 大臣 安藤紀三郎 政府委員 內務次官 唐澤 俊樹 內務省防 上田 誠一 空局長 友末 洋治 內務書記 同二十八日 內閣總理 東條 英機 大臣 安藤紀三郎 政府委員 內務次官 唐澤 俊樹 內務省地方局長 新居善太郎 內務書記 中島 賢藏
復往院議衆	昭和十八年十月二十八日	可決	同二十八日	同二十八日
布公	昭和十八年十月三十一日	法律第九十八號	同二十八日	同二十八日
上奏	昭和十八年十月二十八日	裁可ヲ奏請ス	同二十八日	同二十八日
決議	昭和十八年十月二十八日	可決	同二十八日	同二十八日
出提	昭和十八年十月二十六日	政府提出(院議)	同二十八日	同二十八日

五〇六

考	備
	昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ十二名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同二十八日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ

第八十三回 諸表(議案表)

五〇七

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
昭和十三年法律第八十四號中改正法律案	(本會議) 昭和十八年十月二十七日	第一讀會 同二十八日 第二讀會 同日 第三讀會 同日	昭和十八年十月二十七日 連繫事件トシテ衆議院議員ニシテ大東亞戰爭ニ際シ召集中ナルニ因リ其ノ職ヲ失ヒタルモノノ補闕及復職ニ關スル法律案ト同一ノ特別委員ニ付託ス	國務大臣 政府委員 (本會議) 出席國務大臣政府委員ハ衆議院議員ニシテ大東亞戰爭ニ際シ召集中ナルニ因リ其ノ職ヲ失ヒタルモノノ補闕及復職ニ關スル法律案ニ同シ
提出 昭和十八年十月二十六日 政府提出(衆議院ニ)	昭和十八年十月二十八日 (委員會) 會	議		
決議 昭和十八年十月二十八日 可決				
上奏 昭和十八年十月二十八日 裁可ヲ奏請ス				
公布 昭和十八年十月三十一日 法律第九十九號				
衆議院議案 復往院議衆 昭和十八年十月二十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同二十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス				

第八十三回 諸表(議案表)

五〇八

考	備
	昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同二十八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ

第八十三回 諸表(議案表)

五〇九

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
軍需會社法案	(本會議) 昭和十八年十月二十七日 十月二十八日 同日	第一讀會 第二讀會 第三讀會	昭和十八年十月二十七日選定(議長指名) 特別委員 公爵島津忠重 侯爵西郷從德 侯爵東郷彪 伯爵橋本實斐 伯爵大河內正敏 子爵八條隆正 子爵秋元春朝 子爵阪谷希一 男爵向山均 內田重成 小林一三 伍堂卓雄 松本丞治 男爵東郷安 村瀬直養 男爵安場保健	國務大臣 出席 政府委員 出席
提出	昭和十八年十月二十六日 政府提出(院議)	昭和十八年十月二十八日 會	委員 子爵八條隆正 子爵秋元春朝 子爵阪谷希一 男爵向山均 內田重成 小林一三 伍堂卓雄 松本丞治 男爵東郷安 村瀬直養 男爵安場保健	內閣總理大臣 東條英機 軍大臣 小泉親彦 海軍大臣 嶋田繁太郎 大藏大臣 賀屋興宣 政府委員 富永恭次 陸軍次官 大山文雄 陸軍法務 佐藤賢了 陸軍少將 那須義雄 同 尾畑義純 海軍法務 北野重雄 中將 官 官 商工書記 北野重雄 同二十八日 內閣總理大臣 東條英機 軍大臣 小泉親彦 海軍大臣 嶋田繁太郎 大藏大臣 賀屋興宣 政府委員 富永恭次 陸軍次官 大山文雄 陸軍法務 佐藤賢了 陸軍少將 那須義雄 同 尾畑義純 海軍法務 北野重雄 中將 官 官 商工書記 北野重雄 同二十八日
決議	昭和十八年十月二十八日 可決			
上奏	昭和十八年十月二十八日 裁可ヲ奏請ス			
公布	昭和十八年十月三十一日 法律第百八號			
議院往復	昭和十八年十月二十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同日二十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第八十三回 諸表(議案表)

五一〇

考	備
	昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ二十五名トシ議長指名ト爲スコトヲ議決ス 同二十八日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ
	男爵宮原旭 倉知鐵吉 竹内可吉 瀧川儀作 河西豊太郎 岩田宙造 中山太一 佐藤助九郎 中野敏雄
	厚生大臣 小泉親彦 海軍大臣 嶋田繁太郎 大藏大臣 賀屋興宣 政府委員 大山文雄 陸軍法務 佐藤賢了 陸軍少將 岡敬純 海軍中將 山本丑之助 中將 官 官 商工書記 赤間文三

第八十三回 諸表(議案表)

五一一

豫 算 案

第八十二回 諸表(議案表)

議案題目	會議	委員	國務大臣出席
昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號) 内務、大藏、大東亞、農商、軍需、運輸通信各省所管	(本會議) 昭和十八年十月二十八日 會議 豫算委員會開會ノ日時ハ常任委員會表中ニ掲載セルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下之ニ同シ	豫算委員ノ氏名ハ常任委員會表中ニ掲載セルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下之ニ同シ	國務大臣出席
提出 昭和十八年十月二十六日 政府提出			(本會議) 昭和十八年十月二十八日
決議 昭和十八年十月二十八日 可決			内閣總理大臣 東條 英機 厚生大臣 小泉 親彦 大藏大臣 賀屋 興宣 内務大臣 安藤紀三郎 大東亞大臣 青木 一男 政府委員 内閣書記官長 星野 直樹 法制局長 森山 銳一 内務次官 唐澤 俊樹 大藏省主計局長 植木庚子郎 大藏書記官 窪谷 直光 厚生次官 武井 群嗣
上奏 昭和十八年十月二十八日 裁可ヲ奏請ス			
公布 昭和十八年十月三十一日 公布			
衆議院往復			

五二二

考 備

昭和十八年十月二十七日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同二十八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ會議ヲ加フ

第八十三回 諸表(議案表)

五二三

豫 算 案

議案題目	昭和十八年度特別 會計歲入歳出豫算 追加案(特第一號) 内務、大藏各省所管			
會議	(本會議) 昭和十八年 十月二十八日 會議			
委員				
國務大臣出席	(本會議) 昭和十八年十月二十八日			
提出	昭和十八年十月二十六日 政府提出	議決 昭和十八年十月二十八日 一可決	奏上 昭和十八年十月二十八日 裁可ヲ奏請ス	公布 昭和十八年十月三十一日 公布
衆議院議案	昭和十八年十月二十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同二十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第八十三回 諸表(議案表)

五一四

備	昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同二十八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ會議ヲ加フ
考	

第八十三回 諸表(議案表)

五一五

豫 算 案

議案題目	會 議	委 員	出席
豫算外國庫ノ負擔トナル ベキ契約ヲ爲スヲ要スル 件(追第一號) 内務、大藏各省所管	(本會議) 昭和十八年 十月二十八日 會 議		(本會議) 出席國務大臣 政府委員 ハ昭和十八年度特別會 計歳入歳出豫算追加案 (特第一號)ニ同シ
提出 昭和十八年十月二十六日 政府提出			
決議 昭和十八年十月二十八日 可 決			
上奏 昭和十八年十月二十八日 裁可ヲ奏請ス			
公布 昭和十八年十月三十一日 公 布			
衆議院往復 昭和十八年十月二十七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同二十八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第八十三回 諸表 (議案表)

五一六

備 考		
昭和十八年十月二十七日日本案ヲ配付ス(原案ハ参考ノ爲十月二十六日豫メ之ヲ配付セリ) 同二十八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ會議ヲ加フ		

第八十三回 諸表 (議案表)

五一七

動

議

議案題目	會議	委員	出席
陸海軍ニ對スル感謝決議案	昭和十八年十月二十六日 (本會議) 會議		國務大臣 政府委員
提出 昭和十八年十月二十六日 發議者 公爵一條實孝 外七名 贊成者 公爵山縣有道 外四十二名			陸軍大臣 東條 英機 海軍大臣 嶋田繁太郎 政府委員 陸軍次官 富永 恭次 陸軍法務 大山 文雄 中將 栗橋 保正 陸軍少將 那須 義雄 陸軍大佐 二宮 義清 海軍次官 澤本 賴雄 海軍中將 岡 敬純 海軍主計 山本丑之助 中將 矢牧 章 海軍大佐 山沖 芳市 海軍主計 大佐
決議 昭和十八年十月二十六日 可決			
備考 昭和十八年十月二十六日本案ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ會議ヲ加フ 同日議場ニ於テ東條陸軍大臣、嶋田海軍大臣ハ各、謝辭ヲ述ヘタリ 同日決議文ヲ陸軍大臣、海軍大臣ニ送致ス 因ニ記ス 本院決議ニ對シ關東軍司令官、臺灣軍司令官、北部軍司令官、東部軍司令官、中部軍司令官、西部軍司令官、支那派遣軍司令官、南方派遣軍司令官、香港占領地總督、聯合艦隊司令長官、支那方面艦隊司令長官ヨリ謝辭、謝電ヲ受領ス			

質問表

題目	提出	轉送	答辯	備考
國語ノローマ字綴リ方統一ニ關スル質問	昭和十八年十月二十六日 提出者田中館愛橘 贊成者公爵一條實孝 孝外三十四名	昭和十八年十月二十七日 政府ニ轉送ス	昭和十八年十月二十八日 政府ヨリ答辯書ヲ受領ス	昭和十八年十月二十六日 本質問主意書ヲ配付ス

議事日表

月日	件名	議事日程	時間		出席議員數	出席議員數	出席議員數
			開議	散會			
昭和十八年十月二十五日(月曜日)	一前會ノ部屬及部長理事ノ繼續並前會後就職ナル議員ノ部屬決定 一開院式		午前九時四分	午前九時五十分	分三〇六一〇六		
十月二十六日(火曜日)	一勅語奉答書案ノ議決 一全院委員長ノ選舉(成規ノ手續ヲ省略シ前會ト同一ノ議員ヲ推薦ス) 一常任委員ノ選舉(成規ノ手續ヲ省略シ前會ト同一ノ委員ヲ推薦ス) 一國務大臣東條英機施政ノ方針演說 一國務大臣東條英機戰況ニ關スル報告 一國務大臣嶋田繁太郎戰況ニ關スル報告 一陸海軍ニ對スル感謝決議案(公爵一條實孝外七名發議)會議(可決) 一本會期中議案配付後ニ於ケル成規ノ日數ヲ經スシテ議事ヲ開クコトヲ得ル件ノ議決 一工業所有權法戰時特例案第一讀會 一右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一 第二	午後二時四分	午後四時二十分	二時十六分三二〇一〇二八六四		

一右案特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一防空法中改正法律案第一讀會 一右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 一右案特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一兵役法中改正法律案第一讀會 一右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 一右案特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一裁判所構成法戰時特例中改正法律案第一讀會 一戰時民事特別法中改正法律案第一讀會 一戰時刑事特別法中改正法律案第一讀會 一右各案特別委員ノ數ヲ十九名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一本會期中會議時間ニ於テ委員會開會ノ要求アリタル場合議長之カ許否ヲ決シ得ル件ノ議決 一常任委員辭任ノ許可	第二						
一勅語奉答書捧呈ノ報告及勅語ノ報告 一工業所有權法戰時特例案第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(可決) 一兵役法中改正法律案第一讀會ノ續(委員							

<p>十月二十七日 (水曜日)</p> <p>長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(可決) 一會計法戰時特例中改正法律案第一讀會 帝國鐵道會計法中改正法律案第一讀會 所得稅法及地租法中改正法律案第一讀會 國有財產法中改正法律案第一讀會 國債關係事務簡捷化ニ關スル法律案第一讀會 一右各案特別委員ノ數ヲ十五名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一裁判所構成法戰時特例中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、戰時民事特別法中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、戰時刑事特別法中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(以上可決) 一防空法中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(可決) 一軍需會社法案第一讀會 一右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 一右案特別委員ノ數ヲ二十五名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決 一衆議院議員ニシテ大東亞戰爭ニ際シ召集</p>	同	<p>二七 午後一時十五分 午後八時三十分 七時十五分三〇九一〇三二八九</p>
--	---	--

<p>十月二十八日 (木曜日)</p> <p>中ナルニ因リ其ノ職ヲ失ヒタルモノノ補闕及復職ニ關スル法律案第一讀會、昭和十三年法律第八十四號中改正法律案第一讀會 一右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 一右各案特別委員ノ數ヲ十二名トシ議長指名ト爲ス件ノ議決</p>	<p>一會計法戰時特例中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、帝國鐵道會計法中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、所得稅法及地租法中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、國有財產法中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、國債關係事務簡捷化ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(以上可決) 一衆議院議員ニシテ大東亞戰爭ニ際シ召集中ナルニ因リ其ノ職ヲ失ヒタルモノノ補闕及復職ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、昭和十三年法律第八十四號中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(以上可決) 一昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)會議(委員長報告)、昭和十八年度</p>	第三	<p>一七 午後二時五十四分 午後九時十二分 六時十八分三一六 九六五七二</p>
--	---	----	---

計	十月二十九日 (金曜日)	一閉院式						
	計三日		六五			十五時四十九分九三三〇一二七五		
備	一本表件名欄ニハ議事日程及特別ノ事項ヲ記載ス 一本表ハ議事日程及特別ノ議決ニ係ル事件ヲ各一件トシテ記載ス 一本表ノ時數ハ開議ヨリ散會ニ至ル迄ノ延長時間ヲ示シタモノトス即チ報告、會議及休憩等ニ要シタル時間ノ總和ナリ 一議院成立ノ日、其ノ時數及其ノ出席、關席各議員數ハ總計ニ算入セス 一閉院式ノ日ハ日數ニ算入セス 一議長副議長ハ出席議員數ニ算入セス							
考	特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 會議(委員長報告)、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)會議(委員長報告)(以上可決) 一軍需會社法案第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(可決)							

自第一回會議會 至第八十三回會議會 開會日時、議案件數及議事件數比較表

議 會	會 期	休會日數	開會日數	開會時數	每一日平均開會時數	議案件數	議事件數
第一回	內延長九日 定期九〇 實期三〇	休會五日	四七日	一九六五六分	四時一分	二九	一一一
第二回	四〇 定期九〇 實期三〇	休會八日	二六	六二四一分	二五九	二五	九三
第三回	內延長二日 定期九〇 實期三三	休會七日	二六	九九五九	三五〇	三七	一七二
第四回	內延長二日 定期九〇 實期三三	休會七日	四一	一五四一一	三四五	五九	二八〇
第五回	定期二一 實期一九	休會三日	一〇	三〇〇〇	三〇〇	二三	八七
第六回	定期七 實期四	休會一	一六	六五五〇	四〇六	五五	二四〇
第七回	定期七 實期四	休會一	三	一一一二	三四四	六	三二
第八回	定期七 實期四	休會一	四一	一〇八一八	二三八	八二	四六二

第八十三回 諸表(開會日時、議案件數及議事件數比較表)

第八十三回 諸表(開會日時、議案件數及議事件數比較表)

第十九回	第十八回	第十七回	第十六回	第十五回	第十四回	第十三回	第十二回	第十一回	第十回	第九回
定期 九〇 實期 二〇 休會	內延長 二四 三 休會	定期 九〇 實期 二〇 休會	九〇 休會	九〇 休會	內延長 九四 四 休會	內延長 九七 七 休會	定期 九〇 實期 二〇 休會	定期 九〇 實期 二〇 休會	九〇 休會	內延長 九二 二 休會
一	三	二	六	一	六	三	三	一	六	一
一	六	二	二	一	三	四	一	二	二	四
一	一	二	五	三	一〇	一六	五	四	八	一
五	三	四	三	八	二	一	九	五	六	九
一	二	一	二	二	三	三	三	二	三	二
一	二	一	一	二	一	二	三	二	一	一
五	七	一	四	七	八	九	四	三	九	二
五	五	四	八	三	五	九	一	四	九	二

第八十三回 諸表(開會日時、議案件數及議事件數比較表)

第三十回	第二十九回	第二十八回	第二十七回	第二十六回	第二十五回	第二十四回	第二十三回	第二十二回	第二十一回	第二十回
九〇 休會 停會	三 休會	九〇 休會	九〇 休會	九〇 休會	九〇 休會	九〇 休會	九〇 休會	九〇 休會	九〇 休會	一〇 休會
二	一	七	六	七	六	七	七	六	七	五
一	二	一	二	一	二	一	二	一	一	五
二	四	二	四	三	四	三	四	三	三	八
三	五	六	二	二	三	三	三	二	二	四
五	六	一	一	一	二	二	二	一	一	一
七	八	四	四	五	三	三	一	五	四	二
八	四	五	一	一	九	一	九	一	一	二
七	一	六	五	五	二	三	七	五	八	九

第八十三回 諸表(開會日時、議案件數及議事件數比較表)

第三十一回	九〇 休會 七〇	一八	四八三一	二四一	八四	三二二
第三十二回	三休會 一	二	三五四	一五七	四	九
第三十三回	七休會 四	三	二五六	〇五八	二	一三
第三十四回	內延長 六 三休會 三	三	四二四	一二八	五	二五
第三十五回	定期 九〇 實期 一九 休會 一三	六	六一八	一〇三	一二	四七
第三十六回	二休會 一〇	一一	四四三九	四〇三	五五	一九〇
第三十七回	九〇休會 七二	一八	五九〇六	三一七	九五	三八六
第三十八回	定期 九〇 實期 三〇 休會 二八	二	四〇三	二〇一	四	一一
第三十九回	內延長 二 一 休會 一三	九	二〇一〇	二一四	四四	一五八
第四十回	九〇休會 七二	一八	四五二七	二三一	八七	三〇六
第四十一回	九〇休會 六五	二五	七六三七	三〇三	九七	三八三

第八十三回 諸表(開會日時、議案件數及議事件數比較表)

第四十二回	定期 九〇 實期 六三 休會 四五	一八	五八一八	三一四	五五	一一六
第四十三回	二八休會 一一	一七	八三一四	四五三	九一	三四二
第四十四回	九〇休會 六四	二六	一二六一〇	四五二	一五〇	七二〇
第四十五回	九〇休會 五八	三二	一四〇四八	四二四	一一五	五二六
第四十六回	九〇休會 六一	二九	一四二二六	四五四	九一	四四五
第四十七回	內延長 一 三 三休會 四	九	三五四四	三五八	二三	七〇
第四十八回	定期 九〇 實期 三六 休會 三〇	六	二四五二	四〇八	二	二五
第四十九回	二休會 一一	一〇	二四四七	二二八	四六	一七〇
第五十回	內延長 九 五 休會 六二	三三	一七五一四	五一八	一〇五	四四四
第五十一回	九〇休會 五五	三一	一二六五〇	四〇五	一一五	四七六
第五十二回	九〇休會 六〇 三	二七	九六二九	三三四	九八	四一五

第八十三回 諸表(開會日時、議案件數及議事件數比較表)

第六十三回	第六十二回	第六十一回	第六十回	第五十九回	第五十八回	第五十七回	第五十六回	第五十五回	第五十四回	第五十三回
內延長 一三 五 休會	一四 休會	五 休會	定期 九〇 實期 二七 休會	內延長 九二 二 休會	二 休會	定期 九〇 實期 二七 休會	九〇 休會	一四 休會 停會	定期 九〇 實期 二七 休會	五 休會
三	五	二	二五	五一	七	二五	五六	六二	二五	三
一〇	九	三	二	四一	一四	二	三四	八	二	二
五五 四五	二一 三〇	一〇 五八	四 五九	一八 七四 二	五〇 四四	四〇 五	一八 一一 一三	四二 四五	四 三一	八 四 四
五 三四	二 二三	三 三九	二 二九	四 三四	三 三七	二 〇二	五 一九	五 二〇	二 一五	四 二二
二 四	二 七	一 一	一	一 三八	二 七	一	一 六〇	一 八	三	三
一 二七	一 二一	二 七	一 二	四 九七	一 〇七	五	五 三〇	五 六	九	一 五

第八十三回 諸表(開會日時、議案件數及議事件數比較表)

第七十四回	第七十三回	第七十二回	第七十一回	第七十回	第六十九回	第六十八回	第六十七回	第六十六回	第六十五回	第六十四回
九〇 休會	內延長 九一 一 休會	五	一四 休會	內延長 九六 六 停會	內延長 二二 三 二 休會	定期 九〇 實期 二七 休會	九〇 休會	內延長 一一 二 五 休會	九〇 休會	九〇 休會
六〇	五九	一	三	一三 五五	七	二五	六七	三	五七	五九
三〇	三二	五	一一	二八	一六	二	二五	九	三三	三一
七三 五三	八五 三三	七 二三	二二 五八	六八 三二	六四 一四	二四 八	六二 三二	二六 四九	一〇 三三 六	七二 二九
二 二七	二 四〇	一 二八	二 〇五	二 二六	四 〇〇	一 二四	二 四三	二 五八	三 〇八	二 二〇
一 一四	一 二五	一 五	六 〇	八 八	六 七	一	九 一	八	一 二二	一 一七
四 七九	四 四一	四 七	二 〇〇	三 七九	二 六〇	八	三 五一	四 七	四 七三	四 九二

第七十五回	九二 内延長二 休會	六四	二八	六九五四	二二九	一四八	四九八
第七十六回	九〇 休會	六六	二四	四九三六	二〇五	一一一	四二一
第七十七回	五	一	五	一一五〇	二二三	一五	四九
第七十八回	二	一	二	一三四二	六五一	九	三七
第七十九回	九〇 休會	七四	一六	三一三三	一五七	一〇七	三三一
第八十回	二	一	二	七三〇	三四五	五	二〇
第八十一回	九〇 休會	七二	一八	三五四二	一五九	一一〇	三六一
第八十二回	三	一	三	一六四四	五三四	一二	四二
第八十三回	三	一	三	一五四九	五一六	一八	六五

備

一本表會期欄ニ於テ定期及實期ニ掲ケタルハ衆議院解散ヲ命セラレタル各議會及會期中閉會ヲ命セラレタル第七回議會ノ會期ヲ示シタルモノトス但シ第七十回議會ハ會期終了日ニ衆議院解散ヲ命セラレタルヲ以テ定期及實期ヲ掲ケス

一本表中休會、停會及閉會ノ各日數ノ和カ會期日數ニ一致セサル場合アルハ停會ヲ命セラレタル當日議事アリタル

考

場合ニ之ヲ停會及閉會ノ各日數中ニ算入シタルニ依ル

一第五回議會ノ停會日數ハ二十四日間ナルモ十一日ヲ經テ衆議院解散セラレタリ

一議案件數ハ政府提出、衆議院提出及貴族院議員提出ニ係ル各種議案ノ總件數ヲ示ス但シ決算、國有財産報告書、資格及選舉爭訟、請願、質問ノ件數ハ之ヲ算入セス

一議事件數ハ「議事日表」ニ掲ケル所ノ總件數ニ依ル

委員會表

名	稱	委員數	選舉ノ種類	度會	數議	了審	件查	結	結了	審查	件未
資格審査委員會		九	議院ノ議決								
豫算委員會		六三	同			二					
懲罰委員會		九	同								
請願委員會		四五	同								
決算委員會		四五	同								
工業所有權法戰時特例案特別委員會		一九	議長指名			一					
防空法中改正法律案特別委員會		一九	議長指名			二					
防空法中改正法律案							一				
兵役法中改正法律案特別委員會		一九	議長指名			一					

兵役法中改正法律案		一九	議長指名			二					
裁判所構成法戰時特例中改正法律案特別委員會		一九	議長指名					三			
裁判所構成法戰時特例中改正法律案											
戰時民事特別法中改正法律案			連繫事件トシテ裁判所構成法戰時特例中改正法律案特別委員ニ付託セララル								
戰時刑事特別法中改正法律案		同									
會計法戰時特例中改正法律案特別委員會		一五	議長指名			一					
會計法戰時特例中改正法律案								五			
帝國鐵道會計法中改正法律案			連繫事件トシテ會計法戰時特例中改正法律案特別委員ニ付託セララル								
所得税法及地租法中改正法律案		同									
國有財産法中改正法律案		同									
國債關係事務簡捷化ニ關スル法律案		同									
衆議院議員ニシテ大東亞戰爭ニ際シ召集中ナルニ因リ其職ヲ失ヒタルモノノ補闕及復職ニ關スル法律案特別委員會		一二	議長指名			一					

員		委	
關屋貞三郎(七)	子爵野村益三(七)	子爵大河內正敏(三)	子爵大河內輝耕(二)
子爵加藤泰通(五)	子爵大河內輝耕(二)	子爵伊東二郎(九)	子爵伊東二郎(九)
子爵河瀬眞(六)	子爵松平忠壽(八)	子爵大島陸太郎(三)	子爵大島陸太郎(三)
子爵裏松友光(二)	子爵舟橋清賢(六)	水野鍊太郎(五)	水野鍊太郎(五)
有吉忠一(二)	河井彌八(九)	△男爵岩倉道俱(二)	△男爵岩倉道俱(二)
×東郷茂徳(五)	△吉田茂(三)	三井清一郎(四)	三井清一郎(四)
内田重成(三)	山川端夫(四)	×下村宏(九)	×下村宏(九)
男爵中川良長(七)	伍堂卓雄(六)	田邊治通(一)	田邊治通(一)
男爵前田勇(三)	男爵大藏公望(二)	田口弼一(三)	田口弼一(三)
河田烈(一)	△横山助成(九)	男爵柴山昌生(四)	男爵柴山昌生(四)
×男爵飯田精太郎(五)	男爵松平外與磨(八)	△男爵山川建(五)	△男爵山川建(五)
男爵渡邊修二(八)	男爵中御門經民(八)	男爵古市六三(五)	男爵古市六三(五)
三浦新七(一)	黒田英雄(五)	富田健治(八)	富田健治(八)
田所美治(七)	有賀光豊(四)	西野元(四)	西野元(四)
次田大三郎(四)	丸山鶴吉(九)	太田耕造(一)	太田耕造(一)
野村徳七(一)	三橋四郎次(一)	光永星郎(四)	光永星郎(四)
山隈康(七)	吉村友之進(九)	田部長右衛門(七)	田部長右衛門(七)
伊藤傳七(九)	二瓶泰次郎(一)	諸橋久太郎(九)	諸橋久太郎(九)
上野喜左衛門(二)			

考	備	議 會	
		同 數	年 月 日
		第一回	昭和十八年十月二十六日
		第二回	同月二十八日
		午後四時三十三分	午前十一時五十八分
		午後一時七十分	午後五時四十三分
		開 會	休 憩
		散 會	
<p>一 昭和十八年十月二十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス</p> <p>一 同日男爵岩倉道俱、吉田茂、横山助成、男爵山川建委員ヲ辭任ス</p> <p>一 同日伯爵林博太郎委員長ニ、男爵矢吹省三副委員長ニ當選ス</p> <p>一 同日分科ヲ設ケス分科審査ヲ省略スルノ決議ヲ爲ス</p> <p>一 同月二十七日第二部ニ於テ補關選舉ヲ行ヒ男爵大藏公望委員ニ當選ス</p> <p>一 同日第五部ニ於テ補關選舉ヲ行ヒ東郷茂徳、男爵飯田精太郎委員ニ當選ス</p> <p>一 同日第九部ニ於テ補關選舉ヲ行ヒ下村宏委員ニ當選ス</p> <p>一 同日日本委員會ニ於テ衆議院ヨリ送付アリタル昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、昭和十八年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)ヲ受領ス</p> <p>一 同月二十八日日本委員會ニ於テ昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、昭和十八年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)ハ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決シ直ニ其ノ旨委員長ヨリ議長ニ報告ス</p>			

第三 懲罰委員會

委	侯爵西郷從德(三)	伯爵樺山愛輔(九)	男爵大井成元(八)
員	子爵清岡長言(五)	小山松吉(六)	中川健藏(一)
考	岡喜七郎(四)	山岡萬之助(七)	赤池濃(二)

一昭和十八年十月二十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス
 一委員長及副委員長ノ互選ヲ爲スニ至ラスシテ議會閉會トナレリ

第四 請願委員會

委	長子爵高橋是賢(二)	副男爵久保田敬一(九)	伯爵山縣有道(五)
員	公爵岩倉具榮(五)	侯爵東郷彪(三)	侯爵嵯峨實勝(九)
考	侯爵黒田長禮(二)	伯爵山本清(六)	伯爵後藤一藏(一)
	子爵立花種忠(五)	子爵松平乘統(六)	子爵波多野二郎(五)
	子爵柳澤光治(一)	子爵土岐章(九)	子爵三島通陽(三)
	子爵水野勝邦(四)	田中館愛橘(一)	光行次郎(五)
	村上恭一(一)	△河原田稼吉(七)	大野綠一郎(三)
	安井英二(四)	白根竹介(七)	男爵北島貴孝(五)
	大橋八郎(三)	男爵本多政樹(八)	男爵奥田剛郎(三)
	男爵關義壽(一)	男爵坊城俊賢(四)	男爵益田太郎(八)

員	男爵水谷川忠麿(六)	竹内可吉(二)	×藤沼庄平(七)
	安宅彌吉(八)	奥村嘉藏(二)	×當間重民(六)
	佐々木嘉太郎(四)	中島德太郎(七)	出光佐三(九)
	松岡潤吉(二)	永瀬寅吉(九)	岩田三史(七)
	渡邊覺造(四)	佐藤助九郎(八)	中野敏雄(六)
	柴田兵一郎(八)		

一昭和十八年十月二十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス
 一同日河原田稼吉委員ヲ辭任ス
 一同日二十七日子爵高橋是賢委員長ニ、男爵久保田敬一副委員長ニ當選ス
 一同日第六部ニ於テ補選舉行ヒ常任委員ニ當選ス
 一同日第七部ニ於テ補選舉行ヒ藤沼庄平委員ニ當選ス
 一本委員會ハ審査ノ事項ナキヲ以テ會議ヲ閉クニ至ラス

第五 決算委員會

委	公爵鷹司信輔(三)	公爵桂廣太郎(一)	侯爵大隈信常(五)
	侯爵池田宣政(七)	侯爵小村捷治(二)	伯爵橋本實斐(九)
	伯爵柳澤保承(四)	子爵今城定政(一)	子爵保科正昭(一)
	子爵富小路隆直(六)	子爵北小路三郎(五)	子爵大岡忠綱(七)

考 備	員
一昭和十八年十月二十六日議院ニ於テ常任委員ハ前回議會ト同一ノ委員ヲ推薦スルコトノ議決ヲ爲ス 一同月二十七日第五部ニ於テ補關選舉ヲ行ヒ遠藤柳作委員ニ當選ス 一委員長及副委員長ノ互選ヲ爲スニ至ラスシテ議會閉會トナレリ	子爵京極 高修(四) 子爵松平 親義(七) 子爵仙石 久英(六) 松 井 茂(八) 平塚 廣義(八) 出淵 勝次(五) 男爵向山 均(六) 松村眞一(七) 下條 康麿(五) 長 世 吉(二) 小林 一三(八) 男爵周布 兼道(七) 男爵三須 精一(二) 男爵島津 忠彦(六) 男爵近藤 滋彌(二) 男爵北大路 信明(二) 男爵西 乙(四) 男爵深尾 隆太郎(三) 澤田 牛麿(三) 竹下 豊次(八) ×遠藤 柳作(五) 松本勝太郎(六) 田中 穂積(九) 小坂 梅吉(三) 中山 太一(九) 片倉兼太郎(四) 水野 甚次郎(九) 佐々木長治(一) 奥主一郎(九) 飯塚 知信(八) 秋田 三一(一)

自第一回議會至第八十三回議會 請願書受領件數比較表

議 會	期	請願書受領總件數	同上一日平均數
第一回	九九日	一〇四八	一〇六
第二回	三〇	一二二七	四〇六
第三回	四〇	六一七	一五五
第四回	九二	三〇七〇	三三四
第五回	三三	二六四六	八〇二
第六回	一九	四二〇	一一一
第七回	四	九	二二
第八回	九〇	三三一	三七
第九回	九二	九五六	一〇四
第十回	九〇	六六三	七四

第十一回	二	一八	九〇
第十二回	二三	一六六	七二
第十三回	九七	六七〇	六九
第十四回	九四	五二六	五六
第十五回	九〇	一〇六五	一一八
第十六回	九〇	二八七	三二
第十七回	二〇	一	一
第十八回	二四	一三六	五七
第十九回	二	一	一
第二十回	一〇	三七	三七
第二十一回	九〇	一九八	二二
第二十二回	九〇	七六一	八五
第二十三回	九〇	三七五	四二

第二十四回	九〇	三八八	四三
第二十五回	九〇	三六四	四〇
第二十六回	九〇	四〇八〇	四五三
第二十七回	九〇	九七三	一〇八
第二十八回	九〇	九五四	一〇六
第二十九回	三	二	七
第三十回	九〇	二二五	二四
第三十一回	九〇	一〇八〇	一一〇
第三十二回	三	一	一
第三十三回	七	七	一〇
第三十四回	六	三	五
第三十五回	一九	二五八	一三六
第三十六回	二一	八三九	四〇〇

第三十七回	九〇	一、六八六	一八七
第三十八回	三〇	三七〇	一二三
第三十九回	二二	二二二	一〇五
第四十回	九〇	八一四	九〇
第四十一回	九〇	八七三	九七
第四十二回	六三	九二七	一五〇
第四十三回	二八	二九〇	一〇四
第四十四回	九〇	二、五六五	二九〇
第四十五回	九〇	一、五四七	一七〇
第四十六回	九〇	一、三三四	一五〇
第四十七回	一三	七	五
第四十八回	三六	二六	七
第四十九回	二一	二二一	一〇五

第五十回	九五	九六二	一〇一
第五十一回	九〇	八九三	九九
第五十二回	九〇	五八五	六五
第五十三回	五	一	二
第五十四回	二七	一〇五	三九
第五十五回	一四	六五	四六
第五十六回	九〇	五九九	六七
第五十七回	二七	六	二
第五十八回	二二	一八五	八八
第五十九回	九二	四九四	五四
第六十回	二七	一一	五
第六十一回	五	八	一六
第六十二回	一四	一二八	九二

第六十三回	一三	八九	六八
第六十四回	九〇	三五四	三九
第六十五回	九〇	六一四	六八
第六十六回	一二	二二	一八
第六十七回	九〇	五四二	六〇
第六十八回	二七	三九	一四
第六十九回	二三	一四一	六一
第七十回	九六	四九七	五二
第七十一回	一四	六五	四六
第七十二回	五	四	八
第七十三回	九一	二一五	二四
第七十四回	九〇	四九三	五五
第七十五回	九二	二五八	二八

第七十六回	九〇	一三四	一五
第七十七回	五		
第七十八回	二		
第七十九回	九〇	一〇二	一二
第八十回	二		
第八十一回	九〇	一〇二	一二
第八十二回	三	一	三
第八十三回	三		

自第一回至第八十三回議會 議員出席比例一覽表

議 會	開院式日ヨリ 會期終了日ニ 至ルマテノ議 員總數	開院式日 及開會日	同上平均一 日ノ議員出 席數	議員總數 ニ對スル 議員出席 數ノ割合	出席議員ノ 最モ多キ日	出席議員最 モ多キ日ノ 事項概要	出席議員最 モ少キ日	出席議員ノ 最モ少キ日 ノ事項概要
第一回	二百四十五人	四月八日	百四十一人	五割七分弱	明治二十三年 二月四日 二百三人	辯護士法案	明治二十四年 二月五日 百人	戶籍法案
第二回	二百四十九人	二十二日	百六十一人	六割二分弱	二月二十六日 二百二人	開院式	二十四年十二月 十七日 百三十三人	地震取調局設 置等ノ建議案 外四件
第三回	二百六十二人	二十七日	百八十八人	六割八分弱	二十五日六月 二百三人	鐵道敷設法案 外五件	二十五日六月 百三十四人	砂礫採取法案 外十件
第四回	二百七十二人	四十二日	百六十二人	五割九分強	二十六日二月 二百七十七人	豫定鐵道線路 中云々法律案 外八件	二十六日一月 百三十八人	集會政社法案 外三件
第五回	二百七十七人	十一日	百七十五人	六割三分強	二十六日十二月 月十一日 百八十八人	狩獵法案外十 七件	二十六日十二月 月七日 百五十八人	司法官試補實 地修習期限ニ 關スル法律案 外七件
第六回	二百九十二人	十七日	百九十三人	六割六分強	二十七年五月 月九日 二百九十九人	華族令中追加 ノニ關シ御諮詢 ノ件外六件	二十七年五月 月十五日 二百七十七人	開院式
第七回	二百九十三人	三日	二百二十四人	七割六分強	二十七年十月 月三十一日 二百三十一人	臨時軍事費豫 算案外十八件	二十七年十月 月十八日 二百一十一人	開院式 勅語奉答ノ件 外四件

第八回	二百九十一人	四十二日	百五十七人	五割四分弱	二十八日二月 月十三日 二百八十八人	國立銀行條例 中改正法律案 外五件	二十八日三月 月十二日 百十七人	府縣制改正法 律案外三十三 件
第九回	二百九十三人	四十六日	百五十八人	五割一分弱	二十九日二月 月二十五日 二百六十八人	營業補期國立 銀行處分法案 外三十一件	二十九日三月 月十一日 百一十二人	書蟲驅除豫防 法案外十一件
第十回	二百九十九人	二十七日	百五十八人	五割三分弱	二十九日十二月 月二十六日 百九十九人	法典ノ施行延 期ニ關スル法 律案外七件	三十年二月二 月十日 百一十五人	市制町村制等 ニ關スル法律 案外十二件
第十一回	三百三十一人	二日	二百十人	六割三分強	三十年十二月 月二十五日 二百一十一人	全院委員長選 舉外二件	三十年十二月 月二十四日 二百八十八人	開院式 勅語奉答ノ件 外八件
第十二回	三百二十五人	十七日	二百五人	六割三分弱	三十一日六月 月十日 二百三十九人	民法中修正案 外十九件	三十一日五月 月八日 百八十八人	國籍法案外十 八件
第十三回	三百二十三人	四十五日	百八十八人	五割八分弱	三十一日十二月 月二十三日 二百三十二人	田畑地價修正 法律案外十件	三十二年一月 月十六日 百五十五人	臺灣銀行補助 法案外二十一 件
第十四回	三百二十三	三十三日	百九十九人	六割一分強	三十二年二月 月十七日 二百三十五人	產業組合法案 外五件	三十二年一月 月二十三日 百五十二人	豫算追加案審 査期限ヲ定ム ルノ件外十六 件
第十五回	三百二十六人	十九日	二百一十一人	六割五分弱	三十四年三月 月十四日 二百五十人	増稅案ニ對ス ル勅語奉答ノ 件外十二件	三十四年二月 月四日 百六十四人	明治二十九年 法律第四號中 改正法律案外 二件
第十六回	三百二十六人	二十六日	百九十五人	六割弱	三十五年三月 月八日 二百二十九人	輸入原料砂糖 戻稅法案外二 十四件	三十五年二月 月十日 百五十九人	總豫算追加案 審査期限ヲ定 ムルノ件外六 件

第八十三回 諸表(議員出席比例一覽表)

第十七回	第十八回	第十九回	第二十回	第二十一回	第二十二回	第二十三回	第二十四回	第二十五回
三百二十四人 乃至 三百二十五人	三百二十四人	三百三十一人	三百三十一人	三百六十人 乃至 三百六十四人	三百五十九人 乃至 三百六十四人	三百六十三人 乃至 三百六十五人	三百六十七人 乃至 三百七十人	三百六十七人 乃至 三百七十七人
三日	七日	二日	六日	十九日	二十二日	二十日	二十日	二十二日
百九十三人弱	二百四人弱	二百五人弱	二百二十二人	二百二十七人	二百十人弱	二百二十人弱	二百二十八人	二百二十九人
五割九分強	六割三分弱	六割二分弱	六割七分強	六割三分弱	五割八分強	六割	六割二分弱	六割二分強
三十五年十二月十八日	三十六年六月二十日	三十七年三月十一日	三十八年二月十九日	三十九年三月二十五日	四十年三月二十七日	四十一年三月二十五日	四十二年三月二十日	四十二年三月二十日
勅語奉答ノ件 外四件	鐵道敷設法中 改正法律案外 十六件	勅語奉答ノ件 外四件	非常特別税法 案外二十件	外國裁判所ノ 囑託ニ因ル共 助法案外四十 三件	國債ニ關スル 法律案外六十 六件	樺太ニ施行ス ヘキ法令ニ關 スル法律案外 二十七件	官吏恩給法中 改正法律案外 三十九件	輸出菓子糖果 原料砂糖戻稅 法案外十三件
三十五年十二月十八日	三十六年五月十二日	三十七年三月十一日	三十八年三月十一日	三十九年三月十一日	四十年一月二日	四十一年一月二日	四十二年三月二十日	四十二年三月二十日
刑政改正案外 八件	開院式	開院式	勅語奉答ノ件 外七件	豫算追加案外 四件	官國幣社經費 ニ關スル法律 案外十八件	貨幣法中改正 法律案外五件	國有林野法中 改正法律案外 五件	輸入原料砂糖 戻稅法中改正 法律案外四件

第八十三回 諸表(議員出席比例一覽表)

第二十六回	第二十七回	第二十八回	第二十九回	第三十回	第三十一回	第三十二回	第三十三回	第三十四回
三百六十八人 乃至 三百七十一人	三百六十八人 乃至 三百六十五人	三百七十六人 乃至 三百八十八人	三百七十九人	三百七十八人 乃至 三百八十八人	三百六十八人 乃至 三百七十五人	三百七十八人	三百七十六人	三百七十六人 乃至 三百七十七人
二十日	二十二日	十六日	二日	十三日	十九日	二日	四日	四日
二百二十人強	二百二十人強	二百四十四人	二百七十八人	二百三十五人	二百三十八人	二百四十人	二百四十二人	二百六十三人
五割九分強	六割一分弱	六割五分弱	七割三分強	六割二分強	六割四分弱	六割三分強	六割四分強	七割弱
四十三年三月四日	四十四年三月十三日	四十五年三月七日	大正元年八月二十四日	二年三月二十日	三年三月十三日	三年五月六日	三年六月二十七日	三年九月九日
宅地地價修正 法案外五十件	總豫算案外九 十件	總豫算案外二 十五件	豫算追加案外 七件	總豫算案外六 十三件	總豫算案外十 五件	豫算追加案外 三件	豫算追加案外 四件	豫算追加案外 九件
四十三年三月十日	四十四年二月三日	四十四年十二月二十八日	大正元年八月二十三日	二年三月八日	三年二月二十日	三年五月五日	三年六月二十日	三年九月四日
關稅定率法改 正法律案外十 一件	豫算追加案外 二件	勅語奉答ノ件 外三件	開院式 勅語奉答ノ件 外一件	遺失物法中改 正法律案外十 一件	營業税法中改 正法律案外十 一件	開院式 勅語奉答ノ件 外四件	開院式	開院式

第三十五回	第三十六回	第三十七回	第三十八回	第三十九回	第四十回	第四十一回	第四十二回	第四十三回
三百七十六人 三百七十七人	三百七十四人	三百七十一人 三百七十四人	三百七十七人 三百七十八人	三百七十七人 三百七十九人	三百七十六人 三百八十八人	三百九十六人 四百一人	三百九十一人 三百九十三人	三百九十七人 三百九十八人
七日	十二日	十九日	三日	十日	十九日	二十六日	十九日	十八日
二百三十七人	二百四十七人	二百二十五人	二百四十七人	二百三十一人	二百三十一人	二百三十五人	二百三十七人	二百五十一人
六割三分弱	六割六分強	六割	六割五分強	六割一分強	五割九分弱	五割九分弱	六割四分弱	六割三分強
三年十二月八日	四年六月八日	四年十二月七日	六年一月二十三日	六年六月二十日	七年三月二十日	八年三月二十日	九年一月二十日	九年七月二十日
勅語奉答ノ件 外四件	帝國鐵道會計 法中改正法律 案外七十七件	電氣事業法中 改正法律案外 五件	阿片法中改正 法律案外六件	阿片法中改正 法律案外十一 件	軍需工業動員 法案外二十五 件	衆議院議員選 舉法中改正法 律案外八件	豫算追加案外 三十五件	豫算追加案外 百六十四件
三年十二月七日	四年五月二十日	五年二月十五日	五年十二月二日	六年六月二十三日	七年一月二十日	八年二月三日	九年十二月二日	九年七月一日
二百九人	二百二人	二百九十八人	二百六十八人	二百六十八人	二百六十八人	二百六十八人	二百三十九人	二百四十八人
開院式	開院式	豫算追加案外 二十八件	開院式	開院式	大正六年勅令 第二百二號外 二件	豫算追加案外 二件	開院式	開院式

第四十四回	第四十五回	第四十六回	第四十七回	第四十八回	第四十九回	第五十回	第五十一回	第五十二回
三百九十一人 三百九十三人	三百八十七人 三百九十七人	四百人 四百一人	三百九十二人 三百九十四人	三百九十九人 三百九十六人	三百九十五人 三百九十八人	三百八十九人 三百九十二人	四百人 四百一人	三百九十九人 四百一人
二十七日	三十日	三十日	十一日	七日	十一日	三十四日	三十二日	二十七日
二百四十九人	二百三十七人	二百五十一人	二百六十三人	二百二十六人	二百四十八人	二百四十三人	二百七十八人	二百四十三人
六割四分弱	六割一分弱	六割二分強	六割七分弱	五割八分弱	六割二分強	六割一分強	六割七分弱	六割
十年三月十一日	十一年三月二十日	十二年三月廿三日	十二年十二月二十日	十三年一月二十日	十三年七月一日	十四年三月二十日	十五年一月二十日	昭和二年一月十八日
風教ニ關スル 決議案	豫算追加案外 百六十四件	豫算追加案外 十五件	豫算追加案外 十一件	賀表案及賀錢 案外五件	決議案外二件	豫算追加案外 十六件	請假ノ許可外 一件並國務大 臣ノ演說	請假ノ許可並 國務大臣ノ演 說
九年十二月二日	十一年二月八日	十二年十二月二日	十二年十二月二日	十二年十二月二日	十三年六月二日	十三年十二月二日	十四年十二月二日	昭和二年二月一日
開院式	大正十年勅令 第三百七十五 號(承諾ヲ求ム ル件)外二件	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式

第五十三回	四百六十八人	三	二百四十八人	六割一分弱	二年五月八日	昭和二年初令第九十六號(承諾ヲ求ムル件)外十件	二年五月四日	開院式
第五十四回	三百九十七人	三	二百四十九人	六割三分弱	三年一月二十一日	請暇ノ許可外一件並國務大臣ノ演說	二年十二月二十六日	開院式
第五十五回	四百四十八人	九	二百六十四人	六割五分強	三年四月二十三日	豫算委員會開會ノ議決外六件	三年四月二十三日	開院式
第五十六回	三百九十六人	三十五	二百七十六人	六割九分強	四年二月二十三日	内閣總理大臣ノ措置ニ關スル決議案	三年十二月二十六日	開院式
第五十七回	三百九十七人	三	二百五十七人	六割五分弱	五年一月二十一日	國務大臣ノ演說	四年十二月二十六日	開院式
第五十八回	三百九十八人	十五	二百六十二人	六割六分弱	五年五月十三日	豫算追加案外三十八件	五年四月二十三日	開院式
第五十九回	三百九十八人	四十二	二百六十一人	六割五分強	六年三月二十三日	豫算追加案外二十二件	五年十二月二十六日	開院式
第六十回	四百一人	三	二百五十九人	六割五分弱	七年一月二十一日	國務大臣ノ演說	六年十二月二十六日	開院式
第六十一回	四百三人	四	二百六十五人	六割六分弱	七年三月二十三日	國務大臣ノ演說並豫算追加案外十三件	七年三月二十三日	開院式

第六十二回	三百九十九人	十	二百七十四人	六割九分弱	七年六月十四日	柳河軌道株式會社ノ所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案外三十件	七年六月一日	開院式
第六十三回	四百一人	十一	二百六十八人	六割七分弱	七年八月二十三日	國務大臣ノ演說外三十八件	七年八月二十三日	開院式
第六十四回	四百五人	三十二	二百六十四人	六割六分弱	八年三月二十三日	辯護士法改正法律案外四十四件	七年十二月二十六日	開院式
第六十五回	四百一人	三十三	二百六十四人	六割六分弱	九年一月二十三日	國務大臣ノ演說	九年二月一日	國務大臣ノ演說ニ關スル件
第六十六回	四百十一人	十	二百七十一人	六割六分弱	九年十一月二十三日	滿洲國皇帝陛下御來訪ニ付歓迎ニ關スル議決外二十八件	九年十一月二十三日	開院式
第六十七回	四百九人	二十四	二百六十三人	六割四分強	十年三月二十三日	國務大臣ノ演說	九年十二月二十六日	開院式
第六十八回	四百十人	三	二百六十人	六割三分強	十一年一月二十三日	國務大臣ノ演說外二件	十年十二月二十六日	開院式
第六十九回	四百五人	十七	二百七十七人	六割八分強	十一年五月六日	國務大臣ノ演說及報告外一件	十一年五月四日	開院式

第八十三回 諸表(議員出席比例一覽表)

第七十回	四百五五人 四乃至 四百十三人	二十九日	二百七十六人 強	六割七分強	十二年一月二日 三百二十一人	國務大臣ノ演説	十一年十二月二十七日 二百三十七人	全院委員長選舉外四件
第七十一回	四百十二人	十二日	二百九十人弱	七割強	十二年七月二日 三百二十三人	國務大臣ノ演説	十二年七月二日 二百四十二人	開院式
第七十二回	四百十二人	五日	三百三人強	七割四分弱	十二年九月五日 三百三十人	國務大臣ノ演説外五件	十二年九月四日 二百五十五人	開院式勅語奉答ノ件外三件
第七十三回	四百九人 四乃至 四百十五人	三十日	二百七十二人 強	六割六分強	十三年三月二日 三百二十一人	國家總動員法案外六十二件	十三年二月二日 二百二十七人	裁判所設立ニ關スル法律案外十二件
第七十四回	四百十二人 四乃至 四百十五人	三十一日	二百八十八人 弱	七割弱	十四年三月二日 三百二十七人	米穀配給統制法案外二十五件	十四年一月二日 二百三十四人	國務大臣ノ演説ニ關スル件
第七十五回	四百十四人 四乃至 四百十五人	二十九日	二百八十五人 強	六割九分弱	十五年二月一日 三百三十二人	國務大臣ノ演説	十五年三月十日 二百三十六人	損害保險國營再保險法案外四件
第七十六回	四百十三人 四乃至 四百十三人	二十五日	二百八十七人 強	六割九分強	十六年一月二日 三百二十八人	國務大臣ノ演説	十六年一月二日 二百三十八人	陸軍軍人軍屬違警罪處分例中改正法律案外二件
第七十七回	四百十四人	五日	三百三十一人 弱	七割九分強	十六年十一月十七日 三百五十一人	國務大臣ノ演説外八件	十六年十一月十六日 三百十五人	開院式勅語奉答ノ件外四件
第七十八回	四百十二人	二日	三百二十七人	七割九分強	十六年十二月十七日 三百三十四人	言論出版集會結社等臨時取締法案外七件	十六年十二月十六日 三百二十八人	勅語奉答ノ件外二十八件

第七十九回	四百十三人 四乃至 四百九人	十七日	二百九十三人 弱	七割一分強	十七年一月二日 三百三十三人	國務大臣ノ演説及報告外二件	十七年三月二日 二百六十八人	請願委員長報告外二十件
第八十回	四百十二人	二日	三百十人	七割五分強	十七年五月二日 三百一十一人	國務大臣ノ演説及報告外八件	十七年五月二日 三百九人	開院式勅語奉答ノ件外十件
第八十一回	四百八人 四乃至 四百十六人	十九日	二百九十一人 強	七割強	十八年一月二日 三百二十一人	國務大臣ノ演説外八件	十八年三月十日 二百六十九人	市制中改正法律案外二十二件
第八十二回	四百十四人 四乃至 四百十五人	三日	三百十八人	七割七分弱	十八年六月十八日 三百二十三人	朝鮮食糧管理特別會計法案外二十四件	十八年六月十六日 三百十五人	國務大臣ノ演説及報告外八件
第八十三回	四百十四人	三日	三百十二人弱	七割五分強	十八年十月二日 三百十六人	會計法臨時特例中改正法律案外十六件	十八年十月二日 三百九人	開院式勅語奉答ノ件外二十六件

備 考 「議員總數ニ對スル議員出席數ノ割合」ノ算出ニ付テノ議員總數ハ會期中ニ於ケル議員最多數及最少數ノ和ヲ平均シタルモノニ依ル議員總數中ニハ議長及副議長ヲ算入シ議員出席中ニハ之ヲ算入セス
第一回議會開院式日及開會日數中三日間ノ出席議員數不明ナルヲ以テ四十五日間ノ平均數ヲ掲ク

第八十三回 諸表(議員出席比例一覽表)

自第一回至第八十三回議會傍聽人員表

議 會	開會日數	傍聽人員總數	內 國		外 國		平均傍聽人員數
			男	女	男	女	
第一回	四日	八、五八一人	八、五三四人	三〇人	九人	八人	一八三、弱
第二回	二日	五、三六九	五、三〇二	四七	四	一六	二五六、弱
第三回	二日	一〇、七〇六	一〇、六二三	六五	九	九	四一二、弱
第四回	四日	一〇、六四九	一〇、五一四	一九	八	八	二六〇、弱
第五回	一日	二、二一〇	二、一八八	二二	一	一	二二二、弱
第六回	一六	二、二〇二	二、一〇三	九一	四	四	一三八、弱
第七回	三日	七、四七	七、三六	一一	一	一	二四九、
第八回	四日	五、一四八	五、〇七四	六三	七	四	一二六、弱
第九回	四五	六、五〇三	六、四一〇	八一	八	四	一四五、弱
第十回	二六	四、九二三	四、八五四	五〇	一一	八	一八九、強

第十一回	二	一〇一	一〇一	一	一	一	五一、弱
第十二回	一六	四、三六二	四、二六二	八一	一四	五	二七三、弱
第十三回	四四	七、七〇六	七、五八六	一一〇	九	一	一七五、強
第十四回	三三	五、四九七	五、四〇九	六九	一一	八	一七二、弱
第十五回	一八	五、一五二	五、〇四二	九五	八	七	二八六、強
第十六回	二五	五、三九〇	五、二七九	九八	一三	四	二一六、弱
第十七回	二	一七四	一七四	一	一	一	八七、
第十八回	六	一、五〇八	一、三九八	七四	三五	一	二五一、強
第十九回	一	六三	六二	一	一	一	六三、
第二十回	五	一、一〇五	一、〇六七	二二	一三	二	二二一、
第二十一回	一八	二、六〇六	二、四九九	一〇二	五	一	一四五、弱
第二十二回	二二	三、七八九	三、六九四	七七	一六	二	一八〇、強
第二十三回	一九	三、三三六	三、一六七	一〇七	四八	一四	一七六、強

第二十四回	一九	三、三三四	三、一〇三	九三	一一三	五	一七四、強
第二十五回	二二	三、八七六	三、七六八	九七	五四	一一	一八五、弱
第二十六回	一九	三、三二九	三、一四七	七五	四	三	一七〇、弱
第二十七回	二二	二、九一九	二、七九〇	九七	三三	九	一三九、
第二十八回	一五	三、三三三	三、二一九	一〇七	一四	三	二二三、弱
第二十九回	二	二六四	二五八	六	一	一	一三三、
第三十回	二二	二、二八〇	二、二五〇	二七	三	一	一九〇、
第三十一回	一八	五、二九六	五、二二五	五〇	一九	二	二九四、強
第三十二回	二	二二二	二二〇	一	一	一	一一一、弱
第三十三回	三	六二六	六〇九	一一	五	一	二〇九、弱
第三十四回	三	四三五	四三一	四	一	一	一四五、
第三十五回	六	六八六	六六九	一〇	五	二	一一四、強
第三十六回	二	三、三四二	三、一七五	五六	七	四	二九五、弱

第三十七回	一八	四、一二七	四、〇四八	七二	四	三	二三〇、弱
第三十八回	二	四九七	四八九	七	一	一	二四九、弱
第三十九回	九	一、七九九	一、七六七	二八	四	一	二〇〇、弱
第四十回	一八	三、六三一	三、五二一	一〇一	六	三	二〇二、弱
第四十一回	二五	六、〇〇七	五、八九九	九六	二	一	二四〇、強
第四十二回	一八	三、四四五	三、三三三	九六	一七	一	一九一、強
第四十三回	一七	三、八九八	三、八二五	五九	二	二	二二九、強
第四十四回	二六	一、六九八	一〇、九六四	六七四	一八	四	四五〇、弱
第四十五回	三一	九、六一七	八、七二〇	八六四	二六	七	三一〇、強
第四十六回	二九	一、一五三	九、七九四	一、三三九	一三	七	三八五、弱
第四十七回	九	一、五七七	一、四一一	一五三	一三	一	一七五、強
第四十八回	六	一、三三六	一、二七〇	六二	四	一	二二三、弱
第四十九回	一〇	三、一五五	二、四八四	六五九	一〇	二	三一六、弱

第五十回	三三	一六、四〇三	一三、八九九	二、五一六	一五	一	四九七、強
第五十一回	三一	一五、〇九六	一一、九四八	三、一三四	一三	一	四八七、弱
第五十二回	二七	一二、一一六	一〇、一五一	一、九五五	七	三	四四九、弱
第五十三回	二	八八六	八五九	二七	一	一	四四三、
第五十四回	二	七五八	六〇九	一四六	二	一	三七九、
第五十五回	八	四、六二三	四、三七六	二四一	三	三	五七八、弱
第五十六回	三四	二二、二八五	一九、八二二	三、四四一	三三	九	六八五、弱
第五十七回	一二	一、〇四五	九三二	一〇八	二	一	五二三、弱
第五十八回	一四	一〇、七〇一	九、九二七	七六〇	一一	三	七六四、強
第五十九回	四一	二五、三二六	一九、二五一	五、九八九	五五	三二	六一八、弱
第六十回	二	九四四	八二二	一一一	二	一	四七一、
第六十一回	三	一、五九二	一、三九二	二〇〇	一	一	五三一、弱
第六十二回	九	三、五二三	二、五四一	九六八	二二	二	三九一、強

第六十三回	一〇	二、七五〇	二、四八三	二五七	七	三	二七五、
第六十四回	三一	一一、四六八	六、五三九	四、九一三	一一	四	三七〇、弱
第六十五回	三三	一五、五〇〇	九、三四九	六、一二五	二五	一	四七〇、弱
第六十六回	九	一、八三四	一、五三一	三〇一	二	一	二〇四、弱
第六十七回	二三	一一、九五六	七、一二二	四、七八九	三六	九	五二〇、弱
第六十八回	二	四六七	三三五	一一六	五	一	二三四、弱
第六十九回	一六	七、八二八	五、七七九	二、〇三七	九	三	四八九、強
第七十回	二八	一七、八九六	一〇、五三七	七、三三七	三三	一	六三九、強
第七十一回	一一	三、五〇六	二、九一三	五六五	二〇	八	三一九、弱
第七十二回	五	一、八二二	一、四八八	三三三	三	一	三六四、強
第七十三回	三三	一九、五三二	九、七六五	九、七二六	三七	四	六一〇、強
第七十四回	三〇	二二、三九八	一一、一四一	九、三二六	二五	六	七二三、強
第七十五回	二八	一九、六七八	九、九一三	九、七五一	一〇	四	七〇三、弱

考備	第七十六回	第七十七回	第七十八回	第七十九回	第八十回	第八十一回	第八十二回	第八十三回
開會日數ニハ開院式日ヲ算入セス但シ開院式當日議事ヲ開キタル場合ハ之ヲ算入ス	二四	五	二	一六	二	一八	三	三
	一六、〇三四	三、四二七	一、〇二二	一〇、〇六九	一、二九八	一五、六五〇	一、八一四	一、七二五
	七、〇一八	二、一六三	九一四	四、七三〇	一、一〇八	七、〇九一	一、四四〇	一、〇九六
	八、九一五	一、二二三	九九	五、三一〇	一六〇	八、五二七	三六一	六二〇
	九三	三九	九	二九	三〇	三三	一三	九
	八	二	一	一	一	一	一	一
	六六八、強	六八五、強	五一、	六二九、強	六四九、	八六九、強	六〇五、弱	五七五、

自第八十一回議會印刷物比較表

會期	件數	部數	枚數
第一回	七一	三四、九五〇	六六四、一五〇
第二回	五五	二七、三一〇	三六七、五四〇
第三回	七六	七一、四二五	一、一七九、三七五
第四回	一四四	五四、五三〇	一、一五二、四三〇
第五回	五三	一六、九二〇	五八五、六五〇
第六回	九三	五八、七四〇	七八二、八二〇
第七回	一九	八、八二〇	二八一、一六〇
第八回	一七五	一一六、三二五	一、三二一、六三五
第九回	三三二	一九五、二二五	二、〇三一、九六五
第十回	二二五	一六二、七一〇	二、〇四五、一六〇
第十一回	二四	一一、一四〇	一、〇一四、八四〇

第十二回	一六二	九六、六四〇	一、二二三、九九〇
第十三回	五八六	三七六、五七八	二、八二四、三八三
第十四回	三八五	三〇二、五九〇	二、八七五、八一五
第十五回	一九二	二二五、四一二	一、九九五、九一二
第十六回	二七一	一九〇、一五七	二、三八二、一四六
第十七回	三六	二七、二二七	一、二五〇、八四七
第十八回	六八	五五、九八四	二、三五、九七四
第十九回	一一	八、六二五	九、六二五
第二十回	七五	五四、九二一	一、七七、四二一
第二十一回	二九七	九五六、一八一	二、二二一、四八五
第二十二回	二〇七	二四六、一九九	二、二七八、七五四
第二十三回	二〇六	二四五、三二三	一、三〇〇、三七七
第二十四回	二五八	三二八、七九七	二、五七五、六〇八

第二十五回	二二〇	三二七、〇八七	一、三六五、四九二
第二十六回	三一四	三二五、六九〇	二、三五一、六九〇
第二十七回	四二四	三七一、三七〇	二、六九九、七五〇
第二十八回	三三七	二三五、四九〇	二、五九〇、〇三〇
第二十九回	一八	一一、三八〇	三七、一二〇
第三十回	二二三	一六五、七七〇	一、一三五、〇六〇
第三十一回	四二五	一八六、四八〇	二、五五三、〇八〇
第三十二回	二二	一一、八九〇	四二、〇九〇
第三十三回	三五	二一、六七〇	五〇、七七〇
第三十四回	四〇	二七、四七〇	八二、二三〇
第三十五回	九九	六五、一八二	一、八一九、一九二
第三十六回	一七五	一五八、五三〇	九一五、六六〇
第三十七回	四九三	四〇二、〇七二	二、七八五、四七九

第三十八回	五八	二九、〇六三	一、〇四三、二七九
第三十九回	二四〇	一八四、五六〇	一二〇八、八一五
第四十回	五一四	四三八、二四七	二、八一七、〇七六
第四十一回	二四七	七二八、九一〇	四、四五六、三六〇
第四十二回	二二二	一九一、三四〇	二、七八一、九三〇
第四十三回	三五三	三二五、八三〇	一、四二二、二七〇
第四十四回	七八一	六八四、〇八〇	四、七一〇、五三〇
第四十五回	五六四	四三〇、四五〇	四、七九五、四一〇
第四十六回	四三六	三八六、四五〇	五、〇三六、八二〇
第四十七回	一四六	八八、二六〇	二、二二〇、四五〇
第四十八回	六八	三五、四四〇	一、九四三、九六〇
第四十九回	二四七	一三六、三六〇	一、二七八、八六〇
第五十回	四六八	三〇一、二一〇	四、〇七九、七五〇

第五十一回	六一四	七〇一、七九二	七、三九八、四八八
第五十二回	三五五	五八八、五四二	四、六七七、五八八
第五十三回	二七	二五、九五〇	九、二六、三一〇
第五十四回	五一	三八、七九〇	一、二四七、七五〇
第五十五回	九〇	八七、五七〇	二、二六二、七二〇
第五十六回	四四八	七四〇、四九〇	五、七〇六、二八〇
第五十七回	二七	一三、六四〇	六一七、四七〇
第五十八回	一一二	七三、五六〇	六、三四七、九四〇
第五十九回	二五一	三七八、五四〇	五、六六四、七四〇
第六十回	三四	三〇、八〇五	一、八一七、三一五
第六十一回	四七	五七、一三〇	五、七七七、六八〇
第六十二回	一〇一	一三九、五〇〇	七〇四、二一〇
第六十三回	八八	一三〇、三〇〇	六〇〇、九四〇

第六十四回	三五八	七五二、七五〇	六、四七六、三七〇
第六十五回	三四七	三六六、二九〇	五、六四七、六八〇
第六十六回	五四	五四、七三〇	二六九、二〇〇
第六十七回	二九八	三〇九、九二〇	三、八六二、四五〇
第六十八回	四八	四〇、八四〇	二、三八八、四一五
第六十九回	二〇二	二〇六、三六五	二、〇六九、一五〇
第七十回	三八七	四〇四、八九〇	七、五八四、二一五
第七十一回	一八八	一六九、八九〇	一、九八九、五一〇
第七十二回	五七	六一、四一〇	二九二、八三〇
第七十三回	二八四	四八五、三五〇	八、八四四、九三〇
第七十四回	四三九	四五〇、六三〇	七、九七三、二五〇
第七十五回	四九七	五三八、六九五	七、四六四、〇六五

第七十六回	三一六	四三七、一七〇	五、八四二、九七〇
第七十七回	六五	七四、七八〇	三九五、三〇五
第七十八回	三九	四二、九八五	一六四、七五〇
第七十九回	三九七	四二六、一一〇	五、二三〇、五一五
第八十回	三四	三九、〇三〇	一一四、三〇五
第八十一回	三四二	五〇五、三〇五	六、七八四、三二〇
第八十二回	五七	六二、〇八〇	三〇七、四二〇
第八十三回	七四	八一、二六五	六八〇、六三〇

考備
本表計數中ニハ輕便印刷器ニ依リ印刷シタル印刷物ハ之ヲ除ク

昭和十九年三月八日印刷

昭和十九年三月十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局

